

青森県立保健大学学則

平成 20 年 4 月 1 日
規 程 第 2 号
(最終改正 令和 5 年 4 月 1 日)

目次

- 第 1 章 総則（第 1 条～第 20 条）
 - 第 2 章 学年、学期及び休業日（第 21 条～第 23 条）
 - 第 3 章 学部学生
 - 第 1 節 修業年限及び在学年限（第 24 条・第 25 条）
 - 第 2 節 入学等（第 26 条～第 33 条）
 - 第 3 節 教育課程及び履修方法等（第 34 条～第 41 条）
 - 第 4 節 休学、復学、転学、留学、退学及び除籍（第 42 条～第 48 条）
 - 第 5 節 卒業及び学位（第 49 条・第 50 条）
 - 第 6 節 賞罰（第 51 条・第 52 条）
 - 第 4 章 研究生等（第 53 条～第 58 条）
 - 第 5 章 入学検定料、入学料、授業料及び研修料（第 59 条）
 - 第 6 章 受託研究及び共同研究（第 60 条）
 - 第 7 章 大学の開放（第 61 条）
 - 第 8 章 福利厚生施設（第 62 条）
 - 第 9 章 その他（第 63 条）
- 附則

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 青森県立保健大学（以下「本学」という。）は、高度の専門的知識と技術を備え、保健医療・福祉の連携、協力に向けて、社会の幅広い領域で中核的な役割を果たすことのできる優れた人材を育成し、もって地域の人々の健康及び福祉の向上に寄与することを目的とする。

（評価）

第 2 条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら又は外部の点検及び評価（以下「自己評価及び外部評価」という。）を行うものとする。

2 自己評価及び外部評価に関し必要な事項は、別に定める。

（学部、学科及び学生定員）

第 3 条 本学に、健康科学部を置く。

2 健康科学部の学科、入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

学 科	入学定員	第 2 年次 編入学定員	収容定員
看 護 学 科	1 0 5 人		4 2 0 人
理学療法学科	3 1 人		1 2 4 人
社会福祉学科	5 0 人	4 人	2 1 2 人
栄 養 学 科	3 0 人	3 人	1 2 9 人
合 計	2 1 6 人	7 人	8 8 5 人

(大学院)

第4条 本学に、大学院を置く。

2 大学院に、健康科学研究科を置く。

3 大学院に関し必要な事項は、この学則に定めるもののほか、別に定める。

(附属図書館)

第5条 本学に、附属図書館（以下「図書館」という。）を置く。

2 図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(附属の教育施設及び研究施設)

第6条 本学に、キャリア開発センター（以下「キャリアセンター」という。）及びヘルスプロモーション戦略研究センター（以下「研究センター」という。）を置く。

2 キャリアセンター及び研究センターに関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 本学に、大学の事務を処理するため、事務局を置く。

(職員)

第8条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、特任教授、特任准教授、事務職員及び技術職員その他必要な職員を置く。

(事務局長等)

第9条 本学に、学長のほか、副学長、事務局長、研究科長、学部長、学生部長、附属図書館長、キャリア開発センター長（以下「キャリアセンター長」という。）、ヘルスプロモーション戦略研究センター長（以下、「研究センター長」という。）及び学科長を置く。

2 前項に規定するもののほか、学長特別補佐を置くことができる。

(学長等の職務等)

第10条 学長は校務を掌理し、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 事務局長は、事務局の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

4 研究科長は、当該研究科に関する事項を掌理する。

5 学部長は、学部の教授をもって充て、当該学部に関する事項について掌理する。

6 学生部長は、本学の教授をもって充て、学生の厚生補導に関する事項を処理する。

7 附属図書館長は、本学の教授をもって充て、図書館に関する事項を処理する。

8 キャリアセンター長は、本学の教授をもって充て、キャリアセンターに関する事項を掌理し、所属職員を指揮監督する。

9 研究センター長は、本学の教授をもって充て、研究センターに関する事項を掌理し、所属職員を指揮監督する。

10 学科長は、各学科の教授をもって充て、当該学科に関する事項を掌理し、所属職員を指揮監督する。

11 学長特別補佐は、本学の教員又は学外有識者をもって充て、学長が指示する特定の事項を処理する。

12 第3項を除く前各項に規定する者の選考、任期その他必要な事項については、別に定める。

(名誉教授)

第11条 学長は、本学に勤務し、教育上又は学術上功績のあった者に名誉教授の称号を授与することができる。

2 名誉教授に関し必要な事項は、別に定める。

(客員教授等)

第12条 本学に、客員教授及び臨地教授等を置くことができる。

2 客員教授及び臨地教授等に関し必要な事項は、別に定める。

(教授会)

第13条 本学に、教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生(大学院学生を除く。)の入学及び卒業

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 教授会は、学長及び教授をもって構成する。ただし、学部長が必要と認める場合は、准教授その他の職員を加えることができる。

5 教授会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(研究科委員会)

第14条 本学に、研究科委員会を置く。

2 研究科委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(学部運営連絡会議)

第15条 本学に、学部の重要な事項について総合的な連絡調整を図るため、学部運営連絡会議を置くことができる。

2 学部運営連絡会議に関し必要な事項は、別に定める。

(教員会議)

第16条 本学に、本学の重要な事項について全体的な連絡調整を図るため、教員会議を置く。

2 教員会議に関し必要な事項は、別に定める。

(学科運営会議)

第17条 本学に、学科の重要な事項について連絡調整等を図るため、学科に学科運営会議を置くことができる。

2 学科運営会議に関し必要な事項は、別に定める。

第18条 (削除)

(各種委員会)

第19条 本学に、特定の分野に関する重要事項を調査し、又は審議するため、教務委員会その他必要な委員会を置くことができる。

2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(大学運営協議会)

第20条 本学に、学外有識者の意見を聴取し社会的要請に応え、ひいては本学の発展や円滑な運営に資するため、大学運営協議会を置くことができる。

2 大学運営協議会に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 学年、学期及び休業日

(学年)

第21条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第22条 学年を分けて2期とする。

(1) 前期 4月1日から9月30日まで

(2) 後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、学長は、必要と認める場合には、教授会の議を経て前期及び後期の期間を変更することができる。

(休業日)

第23条 授業を行わない日(以下「休業日」という。)は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
 - (3) 開学記念日
 - (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 前項第4号から第6号までに規定する休業日は、1年を通じ18週以内で学長が定める日とする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、必要がある場合は、学長は臨時に休業日を設け、又は休業日を変更し、若しくは休業日に授業を行うことができる。

第3章 学部学生

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第24条 本学の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第25条 在学年限は、修業年限又は在学すべき年限の2倍を超えることができない。

第2節 入学等

(入学の時期)

第26条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、次条第3号、第4号及び第6号に該当する者(同条第6号に該当する者にあつては、国際バカロレア資格を有する者、アビトゥア資格を有する者又はバカロレア資格を有する者。)及び第31条の規定により入学する者については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第27条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 学校教育法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣が指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学志願の手続)

第28条 本学に入学を志願する者は、指定する期日までに、入学志願票に所定の入学検定料及び別に

定める書類を添えて学長に提出しなければならない。

(入学者の選考)

第 29 条 入学志願者に対しては、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学の許可)

第 30 条 前条の選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、指定する期日までに、別に定める書類を提出するとともに、所定の入学料を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者については、入学を許可する。

(編入学、転入学、再入学)

第 31 条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考を行い、相当年次に入学を許可することができる。ただし、転入学及び再入学の場合については、原則として定員に欠員がある場合に限るものとする。

(1) 大学を卒業した者、退学した者又は第 48 条第 3 号の規定により除籍となった者

(2) 大学に在学している者

(3) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

(4) 学校教育法第 132 条の規定に基づき専修学校の専門課程を修了した者

(5) 学校教育法施行規則附則第 7 条第 1 項の表の上欄に掲げる従前の規定による学校の課程を修了し、又は卒業した者

(転学科)

第 32 条 学長は、他の学科に転学科を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考を行い、これを許可することができる。

2 前項の志願手続、選考及び許可に関し必要な事項は、別に定める。

(転入学等の取扱い)

第 33 条 前 2 条の規定により入学又は転学科を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

第 3 節 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第 34 条 本学で開講する授業科目は、人間総合科学科目、健康科学部共通科目及び専門科目とする。

(単位の計算方法)

第 35 条 授業科目の単位数は、1 単位 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により算定するものとする。

(1) 講義及び演習は、15 時間から 30 時間までの範囲の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲の授業をもって 1 単位とする。

(単位の授与)

第 36 条 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(履修科目の登録の上限)

第 36 条の 2 学長は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が 1 年間又は 1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めることができる。

(成績の評価)

第 37 条 授業科目の成績の評価は、A、B、C、D 及び E の評語をもって表し、A、B 及び C を合格とする。ただし、必要と認める場合は、合格及び不合格の評語を用いることができる。

(他大学等における授業科目の履修等)

第 38 条 学長は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該

他の大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(他の教育機関における学修に対する単位の授与)

第 39 条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他大学設置基準第 29 条第 1 項の規定により大学が単位を与えることのできる学修（平成 3 年文部省告示第 68 号）に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、前条第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて、60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第 40 条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前 2 項の規定により、修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学又は転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、60 単位を超えないものとする。

(授業科目の名称及び単位数等)

第 41 条 各学科の授業科目の名称、配当年次及び単位数は、別表 4、別表 5、別表 5 の 2、別表 6 又は別表 6 の 2 のとおりとする。

- 2 その他履修に関し必要な事項は、別に定める。

第 4 節 休学、復学、転学、留学、退学及び除籍

(休学)

第 42 条 疾病その他特別の理由により、引き続き 2 月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。
- 3 疾病のため休学を願い出る者は、医師の作成する診断書を添付しなければならない。

(休学期間)

第 43 条 休学期間は、1 年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第 25 条に定める在学年限には算入しない。

(復学)

第 44 条 休学した者が、休学期間が満了したとき、又は休学期間中にその理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

- 2 疾病のため休学した者が復学しようとするときは、医師の診断書を添付して願い出なければならない。

(転学)

第 45 条 他の大学等への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第46条 外国の大学等に留学することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 学長は、前項の規定により留学した者について、当該留学した期間を第49条第1項に規定する期間に含めることができる。

3 第1項の規定による留学により修得した単位の取扱いについては、学長が別に定める。

(退学)

第47条 学生は、退学しようとするときは、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第48条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者については、除籍することができる。

(1) 第25条に定める在学年限を超えた者

(2) 第43条第1項又は第2項の規定による休学期間を超えて、なお復学することができない者

(3) 授業料又は入学料の納入を怠り、催促してもなお納入しない者

(4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者

(復籍)

第48条の2 前条第3号に該当し除籍となった者から当該除籍の事由となった授業料を納付して復籍の願い出があったときは、学長は復籍を許可することができる。

2 復籍に関し必要な事項は、別に定める。

第5節 卒業及び学位

(卒業)

第49条 学長は、4年(第31条又は第32条第1項の規定により入学又は転学科した者については、第33条の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、別表4、別表5、別表5の2、別表6又は別表6の2に定める授業科目を履修し、青森県立保健大学履修規程(平成20年規程第105号)で定める卒業要件単位を修得した者に対し、卒業を認定する。

2 学長は、前項の規定により卒業を認定した者に対し卒業証書を授与する。

(学位)

第50条 学長は、前条第1項の規定により卒業を認定した者に対し、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

第6節 賞罰

(表彰)

第51条 学長は、表彰に値する行為のあった学生を、表彰することができる。

(懲戒)

第52条 学長は、学則その他本学の定める諸規程に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした学生を、懲戒することができる。

2 懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由なくして出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第4章 研究生等

(研究生)

第53条 学長は、本学において特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、本学の教育研究に支障のない範囲において、別に定めるところにより選考を行い、研究生として入学

を許可することができる。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると学長が認めた者とする。

(科目等履修生)

第54条 学長は、本学において特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、本学の教育研究に支障のない範囲において、別に定めるところにより選考を行い、科目等履修生として入学を許可することができる。

- 2 科目等履修生を志願することのできる者は、当該授業科目を履修するに十分な学力があると認められた者とする。
- 3 学長は、科目等履修生に対し、単位を与えることができる。

(特別聴講学生)

第55条 学長は、他の大学又は短期大学の学生で、本学において特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、当該大学又は短期大学との協議に基づき、別に定めるところにより選考を行い、特別聴講学生として入学を許可することができる。

- 2 学長は、特別聴講学生に対し単位を与えることができる。

(研修生)

第56条 学長は、大学その他の団体からその所属する職員に特定の専門事項について研修させるため、本学に派遣の申し出のあるときは、本学の教育研究に支障のない範囲において、別に定めるところにより選考を行い、研修生として受け入れることができる。

(外国人留学生)

第57条 学長は、外国人で本学に特別の留学を志願する者がいるときは、別に定めるところにより選考を行い、外国人留学生として入学を許可することができる。

(研究生等の規程)

第58条 この章に規定するもののほか、研究生、科目等履修生、特別聴講学生、研修生及び外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

- 2 大学院の研究生、科目等履修生、特別聴講学生、研修生及び外国人留学生については、この章の規定は適用しない。

第5章 入学検定料、入学料、授業料及び研修料

(授業料等)

第59条 入学検定料、入学料、授業料及び研修料に関し必要な事項は、別に定める。

第6章 受託研究及び共同研究

(受託研究及び共同研究)

第60条 本学の学術研究に資するため、受託研究及び共同研究を行うことができる。

- 2 受託研究及び共同研究に関し必要な事項は、別に定める。

第7章 大学の開放

(大学の開放)

第61条 研究成果を地域社会に還元し、広く県民の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座の開設その他の大学開放の事業を行うことができる。

- 2 大学の開放に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 福利厚生施設

(福利厚生施設)

第 62 条 本学に、福利厚生に資するため、食堂その他の福利厚生施設を設ける。

第 9 章 その他

(委任)

第 63 条 この学則に定めるもののほか、この学則の施行に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 20 年度から平成 22 年度までの各年度における健康科学部の学生収容定員は、第 3 条第 2 項の規定にかかわらず、次に掲げるとおりとする。

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
看護学科	420人	420人	420人
理学療法学科	94人	104人	114人
社会福祉学科	182人	192人	202人
栄養学科	30人	63人	96人
合 計	726人	779人	832人

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 7 月 29 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 9 月 21 日から施行し、平成 24 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 23 年 11 月 16 日から施行し、平成 24 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 24 年 1 月 16 日から施行し、平成 24 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和元年 12 月 2 日から施行し、令和 3 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 令和 3 年度から令和 5 年度までの各年度における健康科学部の学生収容定員は、第 3 条第 2 項の規定にかかわらず、次に掲げるとおりとする。

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
看護学科	415人	410人	415人
理学療法学科	123人	122人	123人
社会福祉学科	212人	212人	212人
栄養学科	129人	129人	129人
合 計	879人	873人	879人

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

別表1
削除

別表2

看護学科

授業科目の概要	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			備考	
			必修	選択	自由		
人間総合科学の概要	人間思想と歴史	3 後		2		2単位必修 4単位以上選択	
	人間行動と価値	3 前		2			
	人間と人格形成と生活行動	1 後		2			
	存在教育と人間	1 後		2			
	個人と組織	3 前		2			
	健康と運動	2 後		2			
	人間総合科学演習	1 前	2				
	科学情報とネットワーク	1 前	2			4単位必修	
	科学と創造	2 後		2			
	近代科学と思考の論理	2 後		2			
	システム論と思考の論理	2 後		2			
	調査と科学的方法	2 後	2				
	芸術と創造	人間と音楽	3 前		1		1単位以上選択
		人間と美術	3 前		1		
		人間と文学	3 前		1		
		人間と演劇	3 前		1		
	現代社会と環境	生態系と生活	1 後		2		6単位以上選択
		生活と環境	3 前		2		
		青森の風土と生活	1 後		2		
		社会の動態と生活形態	1 後		2		
と法律と生活		1 後		2			
経済と生活		2 前		2			
グローバル社会と文化		2 前		2			
国際関係と日本		2 前		2			
科学技術と環境	2 前		2				
言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	2 前	2			10単位必修 2単位以上選択	
	English I	1 前	4				
	English II	1 後	2				
	English III	2 後	2				
	English Communication(注1)	1~4		2			
	韓国事情と言語	1 後		2			
	中国事情と言語	1 後		2			
	ロシア事情と言語	1 後		2			
手話	1 後		2				
専門科目	保健福祉概論	1 前	2			20単位必修 4単位以上選択	
	人体構造機能学	1 前	3				
	生命基礎科学	2 前	1				
	病理病態学	2 前	1				
	感染免疫学	2 前	1				
	薬理学	2 後	1				
	臨床薬理学	2 後	1				
	疫学と保健統計	3 前	1				
	保健概論	1 後	1				
	栄養代謝学	2 前	1				
	成人疾病治療論	2 前	2				
	老年学	2 前	1				
	母性疾病治療論	3 前	1				
	小児疾病治療論	3 前	1				
	精神疾病治療論	2 前	1				
	地域福祉論	4 前	1				
	医療人類学	1 前		1			
	バイオエシックス	1 前		1			
	性とセクシュアリティ	1 後		1			
	精神健康論	1 後		1			
カウンセリング概論	1 後		1				
リハビリテーション概論	2 前		1				
人間工学	2 後		1				
救急医学概論	2 後		1				
基礎科目	看護学概論	1 前	2			46単位必修 11単位以上選択	
	看護倫理学	3 後	1				
	実践基礎看護技術Ⅰ	1 前	2				
	実践基礎看護技術Ⅱ	1 後	1				
	実践基礎看護技術Ⅲ	2 前	1				
	ヘルスアセスメント	2 前	2				
	看護理論	1 後	1				
	看護過程	1 後	1				
	看護過程演習	2 前	1				
	家族援助論	2 後	1				
	健康教育論	2 前	2				
	経過別看護援助論	2 前	1				
	人間発達援助論	2 前	1				

授 業 科 目 の 名 称		配当年次	単 位 数 又 は 時 間 数			備 考					
			必 修	選 択	自 由						
授 業 門 科 目 の 概 要	専 門 科 目	母性看護援助論Ⅰ	2 後	1		(2単位以上選択) (1単位以上選択) (2領域4単位選択) (Ⅰ以外の2領域4単位選択)					
		母性看護援助論Ⅱ	3 前	1							
		小児看護援助論Ⅰ	2 後	1							
		小児看護援助論Ⅱ	3 前	1							
		成人看護援助論Ⅰ	2 後	2							
		成人看護援助論Ⅱ	3 前	2							
		老年看護援助論	2 後	2							
		精神看護援助論	2 後	2							
		在宅看護論	3 前	1							
		地域看護援助論	3 後	3							
		リハビリテーションケア	3 後		1						
		クリティカルケア	3 後		1						
		がん看護	3 後		1						
		※ベリネイタルケア	3 後		1						
		認知症高齢者ケア	3 前		1						
		コンプリメンタリーセラピーⅠ	1 後		1						
		コンプリメンタリーセラピーⅡ	1 後		1						
		看護体験実習	1	1							
		基礎看護実習Ⅰ	1 後	2							
		基礎看護実習Ⅱ	2 後	2							
		経過別看護援助実習Ⅰ	3 前	2							
		経過別看護援助実習Ⅱ	3 後	2							
		発達援助実習Ⅰ(母性看護)	3 前		2						
		発達援助実習Ⅰ(小児看護)	3 前		2						
		発達援助実習Ⅰ(老年看護)	3 前		2						
		発達援助実習Ⅰ(精神看護)	3 前		2						
		発達援助実習Ⅱ(母性看護)	3 後		2						
		発達援助実習Ⅱ(小児看護)	3 後		2						
		発達援助実習Ⅱ(老年看護)	3 後		2						
		発達援助実習Ⅱ(精神看護)	3 後		2						
		地域統合実習	4 前	4							
		展 開 科 目	看護マネジメント論	看護マネジメント論	4 前		2		10単位必修		
				看護マネジメント実習	4 前		2		2単位以上選択		
				国際比較看護論	3 後			1			
				看護教育学	3 後			1			
				看護情報学	3 後			1			
				災害看護学	3 後			1			
				ケアマネジメント論	4 後		1				
				ケアマネジメント論演習	4 後		1				
				看護研究方法論	3 後		1				
				卒業研究	4		3				
				共 通 選 択 科 目	保健医療福祉特殊講義Ⅰ		保健医療福祉特殊講義Ⅰ	1~4		1	2単位以上選択
							保健医療福祉特殊講義Ⅱ	1~4		1	
生物の基礎	1 前期		1								
運動学	1 後期		1								
整形外科学	2		2								
神経内科学	2		2								
人間発達学	1 後期		1								
生活活動分析学	2 後期		1								
障害予防概論	3 後期		1								
生活問題論Ⅰ	1 前期		2								
家族社会学	1 後期		2								
社会心理学	1 後期		2								
行政法	2 前期		2								
地域社会学	2 前期		2								
国際ボランティア論	2 前期		2								
社会福祉情報論	2 後期		2								
地方自治論	2 後期		2								
医療福祉論Ⅰ	3 前期		2								
医療福祉論Ⅱ	3 後期		2								
助 産 学 科	※助産学概論	※助産学概論	3 後		1	助産学コース(選択)は、上記に加えて8科目、14単位必修					
		※女性生殖生理学	3 後		1						
		※周産期医学Ⅰ	3 後		1						
		※周産期医学Ⅱ	3 後		1						
		※母性心理社会学	4 前		1						
		※助産診断・技術学Ⅰ	3 後		2						
		※助産診断・技術学Ⅱ	4 前		2						
※助産学実習	4		5								

看護学科 注1 「English Communication」はイギリスが1~4年前期実施とし、オーストラリアが1~3年後期実施とする。

看護学科 注2 ※は、助産学コース(選択)必修科目

別表3

看護学科

授業科目の概要	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数		備考	
			必修	選択		
人間の総合的科学的概要	思想と歴史	3 前		2	2単位必修 4単位以上選択	
	行動と価値	2 後		2		
	と 人格形成と生活行動	1 後		2		
	教育と人間	1 後		2		
	個人と組織	2 後		2		
	生涯スポーツ	2 後		2		
	人間総合科学演習	1 前	2			
	科学	情報リテラシー	1 前	2		4単位必修
		科学と創造	2 後		2	
		と 思考と論理	2 後		2	
		論 情報社会と対人援助	2 後		2	
		理 調査と科学的方法	2 後	2		
	芸術と創造	人間と音楽	3 前		1	1単位以上選択
		人間と美術	3 前		1	
		人間と文学	3 前		1	
		人間と演劇	3 前		1	
	環境	生態系と生活	1 後		2	4単位以上選択
		科学技術と生活環境	2 前		2	
		社 青森の風土と生活	1 後		2	
		会 社会の動態と生活形態	1 後		2	
		と 社会生活と法	1 後		2	
環 経済と生活		2 前		2		
境 グローバル社会と文化		2 前		2		
国際社会と日本の協力		2 前		2		
現代金融政策と消費生活		2 前		2		
言語とコミュニケーション		人間関係とコミュニケーション	2 前	2		
	English I	1 前	4			
	English II	1 後	2			
	English III	2 後	2			
	English Communication(注1)	1~4		2		
	韓国事情と言語	1 後		2		
	中国事情と言語	1 後		2		
	ロシア事情と言語	1 後		2		
	手話	1 後		2		
	専門科目	健康科学概論	1 前	1		21単位必修 3単位以上選択
健康科学演習		1 前	1			
支 人体構造機能学		1 前	3			
持 生命基礎科学		1 後	1			
科 病理病態学		2 前	1			
目 感染免疫学		1 後	1			
薬理学		2 前	1			
臨床薬理学		2 後	1			
疫学		3 前	2			
保健概論		1 後	1			
栄養代謝学		2 前	1			
成人疾病治療論 I		2 前	1			
成人疾病治療論 II		2 前	1			
老年学		2 前	1			
母性疾病治療論		3 前	1			
小児疾病治療論		3 前	1			
精神疾病治療論		2 前	1			
保健福祉行政論		4 前	1			
医療人類学		1 前		1		
バイオエシックス		1 前		1		
性とセクシュアリティ		1 後		1		
精神健康論		1 後		1		
カウンセリング概論		1 前		1		
リハビリテーション概論	2 前		1			
救急医学概論	2 後		1			
基幹科目	看護学概論	1 前	2		47単位必修 11単位以上選択	
	看護倫理学	3 後	1			
	実践基礎看護技術 I	1 前	2			
	実践基礎看護技術 II	1 後	1			
	実践基礎看護技術 III	2 前	1			
	ベーシックヘルスアセスメント	2 前	1			
	ヘルスアセスメント各論	2 後	1			
	看護理論	1 後	1			
	看護過程	1 後	1			
	看護過程演習	2 前	1			
	家族援助論	2 後	1			
	健康教育論	2 前	2			
	経過別看護援助論	2 前	2			
	人間発達援助論	1 後	1			

授 業 科 目 の 名 称		配当年次	単 位 数 又 は 時 間 数		備 考	
			必 修	選 択		
授 業 科 目 の 概 要	基 幹 科 目	母性看護援助論Ⅰ	2 後	1		
	母性看護援助論Ⅱ	3 前	1			
	小児看護援助論Ⅰ	2 後	1			
	小児看護援助論Ⅱ	3 前	1			
	成人看護援助論Ⅰ	2 後	1			
	成人看護援助論Ⅱ	2 後	1			
	成人看護援助論Ⅲ	3 前	1			
	成人看護援助論Ⅳ	3 前	1			
	老年看護援助論Ⅰ	2 前	1			
	老年看護援助論Ⅱ	2 後	1			
	精神看護援助論	2 後	2			
	在宅看護論	3 前	1			
	地域看護学Ⅰ	3 後	2			
	地域看護学Ⅱ	4 前	1			
	リハビリテーションケア	3 後		1		(3単位以上選択)
	クリティカルケア	3 前		1		
	がん看護	3 後		1		
	※ベリネイタルケア	3 後		1		
	認知症高齢者ケア	3 前		1		
	コンプリメンタリーセラピー	3 前		1		
	基礎看護実習Ⅰ	1 後	2			
	基礎看護実習Ⅱ	2 後	2			
	経過別看護援助実習Ⅰ	3 前	2			
	経過別看護援助実習Ⅱ	3 後	2			
	発達援助実習Ⅰ(母性看護)	3 前		2		(2領域4単位選択)
	発達援助実習Ⅰ(小児看護)	3 前		2		
	発達援助実習Ⅰ(老年看護)	3 前		2		
	発達援助実習Ⅰ(精神看護)	3 前		2		
	発達援助実習Ⅱ(母性看護)	3 後		2		(Ⅰ以外の2領域4単位選択)
	発達援助実習Ⅱ(小児看護)	3 後		2		
	発達援助実習Ⅱ(老年看護)	3 後		2		
	発達援助実習Ⅱ(精神看護)	3 後		2		
	在宅看護実習	4 前		1		
	地域看護学実習Ⅰ	3 後		1		
	地域看護学実習Ⅱ	4 前		3		
	展 開 科 目	看護マネジメント論	4 前	2		9単位必修 2単位以上選択
		看護マネジメント実習	4 前	2		
		国際比較看護論	3 後		1	
		看護教育学	3 後		1	
		看護情報学	3 後		1	
		災害看護学	3 後		1	
		看護関係法規	3 後		1	
		ヘルスケアマネジメント論	4 前	1		
		ヘルスケアマネジメント実習	4 後	1		
看護研究方法論		3 後	1			
卒業研究		4	2			
共 通 選 択		保健医療福祉特殊講義Ⅰ	1~4		1	2単位以上選択
		保健医療福祉特殊講義Ⅱ	1~4		1	
	生物の基礎	1 前		1		
	化学の基礎	1 前		1		
	運動学	1 後		1		
	人間発達学	1 前		1		
	生活活動分析学	2 後		1		
	障害予防概論	3 後		1		
	生活問題論	1 前		2		
	家族社会学	1 後		2		
	ボランティア活動支援論	2 前		2		
	行政法	2 前		2		
	女性福祉論Ⅰ	2 前		2		
	女性福祉論Ⅱ	2 後		2		
	医療福祉論Ⅰ	3 前		2		
	医療福祉論Ⅱ	3 後		2		
	国際ボランティア論	4 前		2		
	人権擁護論	4 前		2		
	病態と生化学	3 前		2		
	食品学総論	1 前		2		
	調理学	2 前		2		
	基礎栄養学	1 後		2		
	応用栄養学Ⅰ	2 前		2		
	臨床栄養学総論	2 前		2		
	公衆栄養学	2 前		2		
	地域栄養活動論	2 後		2		
	助 産 学 コ ー ス	※助産学概論	3 後		1	
※女性生殖生理学		3 後		1		
※周産期医学Ⅰ		3 後		1		
※周産期医学Ⅱ		3 後		1		
※母性心理社会学		4 前		1		
※助産診断・技術学Ⅰ		3 後		2		
※助産診断・技術学Ⅱ		4 前		2		
※助産学実習	4		6			

看護学科 注1 「English Communication」はイギリスが1~4年前期実施とし、オーストラリアが1~3年後期実施とする。

看護学科 注2 ※は、助産学コース(選択)必修科目

学則別表 3 の 2 教職課程

授業科目の名称			配当年次	単位数または時間数		備考
				必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	教 職 共 通 科 目	※生涯スポーツ	2 後	2		
		※English I	1 前	4		
		※情報リテラシー	1 前	2		
		日本国憲法	1 後	2		
		教職論	3 後	2		
		教育基礎論	2 前	2		
		教育心理学	1 後	1		
		教育行政学	3 後	1		
		教育課程論	2 後	1		
		道德教育・特別活動論	3 前	1		
		教育方法論	2 後	2		
		生徒指導論	2 前	2		
		教育相談	2 前	2		
		総合演習	3 前	2	平成24年度まで 平成25年度以降 } 注2	
		教職実践演習（栄養教諭）	4 後	2		
栄 養 教 諭 科 目		学校栄養教育論	3 前	2		
		食育実践論	3 前	2		
		栄養教育実習事前事後指導	4 前	1		
		栄養教育実習	4 前	1		

注1 ※は人間総合科学科目で履修しなければならない科目

注2 「総合演習」は、平成 25 年度から「教職実践演習（栄養教諭）」に置き換わる。

学則別表3の3

栄養学科(管理栄養士学校指定規則による専門基礎分野・専門分野)

教育課程	管理栄養士規則に沿った教育課程						栄養士規則に沿った教育課程						
	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			備考	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			備考	
			必修	選択	自由				必修	選択	自由		
授業科目の概要	専門基礎科目 専門支持科目 専門基礎分野 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 食べ物と健康 食生活と健康	社会福祉学概論	1前	2			社会福祉学概論	1前	2				講義又は演習を18単位以上必修。 実験又は実習を4単位以上必修。
		健康科学概論	1前	1		42単位必修 2単位以上選択	健康科学概論	1前	1				
		健康科学演習	1前	1			健康科学演習	1前	1				
		公衆衛生学Ⅰ	1後	2			公衆衛生学Ⅰ	1後	2				
		公衆衛生学Ⅱ	2前	2									
		人体構造学	1前	2			人体構造学	1前	2				
		人体構造学実験	1後	1			人体構造学実験	1後	1				
		生体機能学	1後	2			生体機能学	1後	2				
		生体機能学実験	2前	1			運動生理学	1後	1				
		運動生理学	1後	1			病理学	2前	2				
		病理学	2前	2			生化学Ⅰ	1後	2				
		生化学Ⅰ	1後	2			生化学実験Ⅰ	2前	1				
		生化学実験Ⅰ	2前	1			食品学総論	1前	2				
		生化学Ⅱ	2前	2			食品学各論	1後	2				
		生化学実験Ⅱ	2後	1			食品学実験Ⅰ	1前	1				
		微生物学	2後	2			食品衛生学	2前	2				
		病態と生化学	3前	2			食品衛生学実験	2後	1				
		疾病治療論	2後		2		食品加工学	2後	2		2		
		薬理学	2前		1								
		食品学総論	1前	2									
		食品学各論	1後	2									
		食品機能論	1後	1									
		食品学実験Ⅰ	1前	1									
		食品学実験Ⅱ	1後	1									
		食品学実験Ⅲ	2前	1									
		食品衛生学	2前	2									
		食品衛生学実験	2後	1									
		食品加工学	2後		2								
食品加工学実験	2後		1										
調理学	2前	2											
調理学実習Ⅰ	2前	1											
調理学実習Ⅱ	2後	1											
授業科目の概要	専門基礎科目 専門支持科目 専門基礎分野 基礎栄養学 応用栄養学 栄養教育論 臨床栄養学 公衆栄養学 給食経営管理論 展開科目	基礎栄養学	1後	2		38単位必修	基礎栄養学	1後	2				講義又は演習を18単位以上必修。ただし、「調理学」は専門支持科目に含むものとする。 実験又は実習を10単位以上必修。ただし、「調理学実習Ⅰ」は専門支持科目に含むものとする。
		基礎栄養学実験	2前	1			基礎栄養学実験	2前	1				
		応用栄養学Ⅰ	2前	2			応用栄養学Ⅰ	2前	2				
		応用栄養学Ⅱ	2後	2			応用栄養学Ⅱ	2後	2				
		健康スポーツ栄養学	3前	2			健康スポーツ栄養学	3前	2				
		応用栄養学実習	3前	1			応用栄養学実習	3前	1				
		栄養教育論Ⅰ	2後	2			臨床栄養学総論	2前	2				
		栄養教育論Ⅱ	3前	2			臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1				
		栄養カウンセリング論	3後	2			臨床栄養学臨地実習Ⅰ	4前	1				
		栄養教育実習Ⅰ	3前	1			栄養教育論Ⅰ	2後	2				
		栄養教育実習Ⅱ	3後	1			栄養教育実習Ⅰ	3前	1				
		健康と栄養管理	1前	1			公衆栄養学	2前	2				
		臨床栄養学総論	2前	2			地域栄養活動論	2後	2				
		臨床栄養学各論Ⅰ	2後	2			公衆栄養学実習	3前	1				
		臨床栄養学各論Ⅱ	3前	2			公衆栄養学臨地実習	3前	1				
		臨床栄養学演習	3前	1			調理学	2前	2				
		臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1			調理学実習Ⅰ	2前	1				
		臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1			給食経営管理論Ⅰ	2前	2				
		公衆栄養学	2前	2			給食経営管理論Ⅱ	2後	2				
		地域栄養活動論	2後	2			給食経営管理実習	3前	1				
		公衆栄養学実習	3前	1			給食経営管理臨地実習	3前	1				
		給食経営管理論Ⅰ	2前	2									
		給食経営管理論Ⅱ	2後	2									
		給食経営管理実習	3前	1									
		ヘルスクエアマネジメント論	4前	1									
		ヘルスクエアマネジメント実習	4後	1			11単位必修						
		栄養科学総合演習	3後	1									
		卒業研究	3後・4通年	4									
公衆栄養学臨地実習	3前	1											
給食経営管理臨地実習	3前	1											
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	4前	1											
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	4前	1											

注) 網かけは、「管理栄養士規則」あるいは「栄養士規則」の指定規則による教育内容を示す。

看護学科

対象学生：平成24年度以後に入学する学生、平成26年度以後に看護学科に編入する学生

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数		備考	
		必修	選択		
授業科目の概要 人間総合科学科目	人間総合科学演習	1前	2	2単位必修 4単位以上選択	
	思想と歴史	2後	2		
	行動と価値	2前	2		
	人間と心理	1後	2		
	教育と人間	1後	2		
	個人と組織	2後	2		
	生涯スポーツ	2後	2		
	キャリアデザイン	1前	2		
	人間関係論	2後	2		
	科学と論理	情報リテラシー	1前	1	1単位必修 2単位以上選択
		情報科学	1後	1	
		科学と創造	2後	2	
		情報社会と対人援助	2後	2	
		調査と科学的方法 (PHN)	2後	2	
		データ処理 I	2後	1	
		データ処理 II	3前	1	
	芸術と創造	人間と音楽	2後	1	1単位以上選択
		人間と美術	2後	1	
		人間と文学	2後	1	
		人間と演劇	2後	1	
	現代社会と環境	生態系と生活	1後	2	6単位以上選択
		科学技術と生活環境	2前	2	
		青森の風土と生活	1後	2	
		社会の動態と生活形態	1前	2	
		社会生活と法	1後	2	
		経済と生活	2前	2	
		グローバル社会と文化	2前	2	
		国際社会と日本の協力	2前	2	
ジェンダーと社会		2後	2		
メディアリテラシー		2後	2		
言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	2前	2	10単位必修 2単位以上選択	
	English A	1前	2		
	English B	1後	2		
	English C	2前	2		
	English D	2後	2		
	English Communication	1～4通	2		
	手話	2後	2		
	英語リーディング	1後	2		
	※韓国事情と言語	1前	2		(※から少なくとも2単位以上選択)
	※中国事情と言語	1前	2		
	※ロシア事情と言語	1後	2		
	※スペイン事情と言語 (隔年開講)	1後	2		
※フランス事情と言語 (隔年開講)	1後	2			

授業科目の概要	健康科学部専門科目	健康科学概論	1前	1		4単位必修
		健康科学演習	1前	1		
		ヘルスケアマネジメント論	4前	1		
		ヘルスケアマネジメント実習	4後	1		
	共通選択科目	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通		1	2単位以上選択
		ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通		1	
		ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通		1	
		災害支援論	2後		1	
		整形外科学	2前		2	
		神経内科学	2後		2	
		人間発達学	1前		1	
		障害予防概論	3後		1	
		家族社会学	1後		2	
		行政法	2前		2	
		ボランティア活動支援論	2前		2	
		女性福祉論	2前		2	
		国際ボランティア論	4前		2	
		医療福祉論	3前		2	
		日本国憲法	1後		2	
		病態と生化学	2前		2	
食品学総論	1前		2			
調理学	1前		2			
健康スポーツ栄養学	3前		1			
公衆栄養学	2前		2			
栄養疫学	2前		1			
生物の基礎	1前		1	「生物の基礎」「化学の基礎」は3年次編入学生のみ単位認定		
化学の基礎	1前		1			
専門科目	専門支持科目	人体構造機能学	1前	3		18単位必修 3単位以上選択
		生命基礎科学	1後	1		
		病理病態学	2前	1		
		感染免疫学	1後	1		
		薬理学	2前	1		
		臨床薬理学	2後	1		
		疫学	3前	2		
		栄養代謝学	2前	1		
		成人疾病治療論Ⅰ	2前	1		
		成人疾病治療論Ⅱ	2前	1		
		老年学	2前	1		
		母性疾病治療論	3前	1		
		小児疾病治療論	3前	1		
		精神疾病治療論	2前	1		
		保健福祉行政論	4前	1		
		保健概論(PHN)	1後		1	
		グローバルヘルス	1前		1	
		バイオエシックス(M)	1前		1	
		性とセクシュアリティ(M)	1後		1	
		精神健康論	1前		1	
カウンセリング概論(M)	1前		1			
リハビリテーション概論	2前		1			
救急医学概論	2後		1			
基幹科目	看護学概論	1前	1		44単位必修 8単位以上選択	
	看護倫理学	3後	1			
	実践基礎看護技術Ⅰ	1前	2			
	実践基礎看護技術Ⅱ	1後	1			
	実践基礎看護技術Ⅲ	2前	1			
	ベーシックヘルスアセスメント	2前	1			
	ヘルスアセスメント各論	2後	1			
	看護理論	1後	1			
	看護過程	1後	1			
	看護過程演習	2前	1			
	家族援助論	2後	1			
	健康教育論	2前	1			

授業科目の概要	専門科目	基幹科目	経過別看護援助論	2前	2		
		人間発達援助論	1後	1			
		母性看護概論	2後	1			
		母性看護援助論	3前	1			
		小児看護概論	2後	1			
		小児看護援助論	3前	1			
		成人看護援助論Ⅰ	2後	1			
		成人看護援助論Ⅱ	2後	1			
		成人看護援助論Ⅲ	3前	1			
		成人看護援助論Ⅳ	3前	1			
		老年看護援助論Ⅰ	2前	1			
		老年看護援助論Ⅱ	2後	1			
		精神看護概論	2前	1			
		精神看護援助論	2後	1			
		在宅看護概論	3前	1			
		在宅看護援助論	3後	1			
		地域看護学	3後	2			
		看護関係法規	3後	1			
		基礎看護実習Ⅰ	1後	2			
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2			
		経過別看護援助実習Ⅰ	3前	2			
		経過別看護援助実習Ⅱ	3後	2			
		地域看護学実習	3後	1			
		在宅看護実習	4前	2			
		発達援助実習Ⅰ(老年看護)	3前		2		
		発達援助実習Ⅰ(小児看護)	3前		2		
		発達援助実習Ⅰ(母性看護)	3前		2		
		発達援助実習Ⅰ(精神看護)	3前		2		
		発達援助実習Ⅱ(老年看護)	3後		2		
		発達援助実習Ⅱ(小児看護)	3後		2		
		発達援助実習Ⅱ(母性看護)	3後		2		
		発達援助実習Ⅱ(精神看護)	3後		2		
		展開科目	認知症高齢者ケア	3前		1	9単位必修
	クリティカルケア	3前		1	8単位以上選択		
	リハビリテーションケア	3後		1	(4単位以上選択)		
	がん看護	3後		1			
	ペリネイタルケア (M)	3後		1	(4単位以上選択)		
	女性のヘルスケア(M)	3後		1			
	母性心理社会学(M)	4前		1			
	コンプリメンタリーセラピー	3前		1			
	応用精神看護技術	3前		1			
	アドバンスド小児ヘルスケア	4前		1			
	国際看護学	3後		1			
	看護教育学	3後		1			
	看護情報学	3後		1			
	災害看護学	3後	1				
	看護マネジメント論	4前	2				
	看護マネジメント実習	4前	2				
	看護統合実習	4通	1				
	看護研究方法論	3後	1				
	卒業研究	4通	2				
保健学コース	個人・家族・集団の生活支援論	3後		2	保健学コース(選択)は、上記に加えて8科目12単位必修		
	地域保健活動論(M)	3後		2			
	地域保健管理論	4前		1			
	地域保健研究論	4後		1			
	地域保健学(公衆衛生学)	3後		1			
	健康政策学	3前		1			
	地域保健継続実習	4通		1			
	地域保健展開実習	4前		3			
助産学コース	助産学概論	3後		1	助産学コース(選択)は、上記に加えて11科目21単位必修		
	女性生殖生理学	3後		1			
	周産期医学Ⅰ	3後		1			
	周産期医学Ⅱ	3後		1			
	助産診断・技術学(妊娠期)	3後		2			
	助産診断・技術学(産褥・新生児期)	3後		2			
	助産診断・技術学(分娩期)	4前		2			
	助産管理	4後		1			
	助産診断・技術学演習	4前		1			
	助産学実習	4通		7			

注) 授業科目名中、(PHN)の表示がある科目は、保健学コース(選択)必修科目。

注) 授業科目名中、(M)の表示がある科目は、助産学コース(選択)必修科目。

別表4

理学療法学科

対象学生:平成24年度以後に入学する学生、平成26年度以後に理学療法学科に編入する学生

授業科目の名称			配当年次	単位数又は時間数		備考
				必修	選択	
授業科目の概要	人間総合科学 科目目	人間総合科学演習	1前	2		2単位必修 4単位以上選択
		思想と歴史	2後		2	
		行動と価値	2前		2	
		人間と心理	1後		2	
		教育と人間	1後		2	
		個人と組織	2後		2	
		生涯スポーツ	2後		2	
		キャリアデザイン	1前		2	
		人間関係論	2後		2	
	科学と論理	情報リテラシー	1前	1		1単位必修 2単位以上選択
		情報科学	1後		1	
		科学と創造	2後		2	
		情報社会と対人援助	2後		2	
		調査と科学的方法	2後		2	
		データ処理Ⅰ	2後		1	
		データ処理Ⅱ	3前		1	
	芸術と創造	人間と音楽	2後		1	1単位以上選択
		人間と美術	2後		1	
		人間と文学	2後		1	
		人間と演劇	2後		1	
	現代社会と環境	生態系と生活	1後		2	6単位以上選択
		科学技術と生活環境	2前		2	
		青森の風土と生活	1後		2	
		社会の動態と生活形態	1前		2	
		社会生活と法	1後		2	
		経済と生活	2前		2	
		グローバル社会と文化	2前		2	
		国際社会と日本の協力	2前		2	
		ジェンダーと社会	2後		2	
		メディアリテラシー	2後		2	
	言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	2後	2		10単位必修 2単位以上選択
		English A	1前	2		
		English B	1後	2		
		English C	2前	2		
		English D	2後	2		
		English Communication	1~4通		2	
手話		2後		2		
英語リーディング		1後		2		
※韓国事情と言語		1前		2	(※から少なくとも2単位以上選択)	
※中国事情と言語		1前		2		
※ロシア事情と言語		1後		2		
※スペイン事情と言語 (隔年開講)		1後		2		
※フランス事情と言語 (隔年開講)		1後		2		

授業科目の概要	健康科学部専門科目	健康科学概論	1前	1		4単位必修
		健康科学演習	1前	1		
		ヘルスケアマネジメント論	4前	1		
		ヘルスケアマネジメント実習	4後	1		
	共通選択科目	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通		1	2単位以上選択
		ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通		1	
		ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通		1	
		災害支援論	2後		1	
		グローバルヘルス	1前		1	
		性とセクシュアリティ	1後		1	
		精神健康論	1前		1	
		看護学概論	1前		1	
		人間発達援助論	1後		1	
		家族援助論	2後		1	
		ペリネイタルケア	3後		1	
		認知症高齢者ケア	3前		1	
		災害看護学	3後		1	
		看護関係法規	3後		1	
		家族社会学	1後		2	
		行政法	2前		2	
		ボランティア活動支援論	2前		2	
		女性福祉論	2前		2	
		国際ボランティア論	4前		2	
		医療福祉論	3前		2	
		病態と生化学	2前		2	
		食品学総論	1前		2	
		調理学	1前		2	
		健康スポーツ栄養学	3前		1	
		公衆栄養学	2前		2	
		栄養疫学	2前		1	
	専門科目	解剖学	1前	2		30単位必修 3単位以上選択
		運動器解剖学	1後	1		
		筋・骨格系解剖学実習	1後	1		
解剖学総合実習		2前	1			
生理学		1前	2			
運動生理学		1後	1			
生理学実習		2前	1			
運動学		1後	1			
運動学演習		1後	1			
運動学実習		2前	1			
病理病態学		2前	1			
医療心理学		3前	1			
リハビリテーション論		1前	2			
リハビリテーション医学		2後	2			
一般臨床医学		1後	1			
内科学		1後	1			
整形外科		2前	2			
神経内科学		2後	2			
脳神経外科学		2前	1			
精神医学		2前	1			
小児疾病治療論		3前	1			
人間発達学		1前	1			
画像診断学		3後	1			
老年医学		3前	1			
疫学		3前		2		
保健概論		1後		1		
カウンセリング概論		1前		1		
救急医学概論	2後		1			
薬理学	2前		1			
栄養学	1後		1			
				(3単位以上選択)		

授業科目の概要	専門科目	理学療法原論	1前	1		27単位必修 2単位以上選択
		理学療法演習	3前	1		
		理学療法評価学	1後	1		
		理学療法評価学演習	2後	2		
		理学療法評価学実習	2前	1		
		臨床運動学	3前	1		
		基礎運動療法学	1後	1		
		基礎運動療法学実習	2前	1		
		運動器障害理学療法学	2前	1		
		運動器障害理学療法学実習	2後	1		
		神経障害理学療法学	2後	1		
		神経障害理学療法学実習	2後	1		
		呼吸循環障害理学療法学	3前	1		
		呼吸循環障害理学療法学実習	3後	1		
		発達障害理学療法学	3前	1		
		発達障害理学療法学実習	3後	1		
		物理療法学	1後	1		
		物理療法学実習	1後	1		
		生活活動分析学	2後	1		
		生活活動分析学実習	3前	1		
		生活環境学	3前	1		
		義肢装具学	2後	1		
		義肢装具学実習	3前	1		
		地域理学療法学	3前	2		
		理学療法管理論	3後	1		
		リハビリテーションケア論	3後		1	
		健康論	3後		1	
		障害予防概論	3後		1	
		スポーツ障害理学療法論	3後		1	
		高齢障害理学療法論	3後		1	
		展開科目	理学療法医療領域特殊講義	4後		1
理学療法福祉領域特殊講義	4後			1		
臨床判断分析学	3後		1		27単位必修 1単位以上選択	
臨床基礎実習	1後		1			
臨床評価実習	3前		2			
初期総合臨床実習	3後		6			
総合臨床実習	4前		12			
理学療法研究方法論	2後		1			
卒業研究	4通	4				

別表4
社会福祉学科

授業科目の名称				配当年次	単位数		備考
					必修	選択	
授業科目の概要	人間総合科学科目	人間と存在	思想と歴史	3前		2	2単位必修 4単位以上選択
			行動と価値	2後		2	
			人格形成と生活行動	1後		2	
			教育と人間	1後		2	
			個人と組織	2後		2	
			生涯スポーツ	2後		2	
			人間総合科学演習	1前	2		
	科学と論理	情報リテラシー	1前	2		2単位必修 2単位以上選択	
		科学と創造	2後		2		
		思考と論理	2後		2		
		情報社会と対人援助	2後		2		
		調査と科学的方法	2後		2		
	芸術と創造	人間と音楽	3前		1	1単位以上選択	
		人間と美術	3前		1		
		人間と文学	3前		1		
		人間と演劇	3前		1		
	現代社会と環境	生態系と生活	1後		2	4単位以上選択	
		科学技術と生活環境	2前		2		
		青森の風土と生活	1後		2		
		社会の動態と生活形態	1後		2		
社会生活と法		1後		2			
経済と生活		2前		2			
グローバル社会と文化		2前		2			
国際社会と日本の協力		2前		2			
現代金融政策と消費生活	2前		2				
言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	2後	2		10単位必修 4単位以上選択		
	English I	1前	4				
	English II	1後	2				
	English III	2後	2				
	English Communication(注)	1~4		2			
	韓国事情と言語	1後		2			
	中国事情と言語	1後		2			
	ロシア事情と言語	1後		2			
	手話	1後		2			
専門科目	専門支持科目	健康科学概論	1前	1		19単位必修 4科目8単位以上選択	
		健康科学演習	1前	1			
		社会学(C)、(P)	1前	2			
		心理学(C)、(P)	1後	2			
		法学	1前	2			
		社会福祉基礎論	1前	2			
		家族社会学	1後	2			
		人体の構造と機能及び疾病(C)、(P)	2前	2			
		就労支援論(C)	1後	2			
		社会福祉基礎実習 I	1	1			
		社会福祉基礎演習	1	2			
		リハビリテーション論	1前		2		
		保健概論	1後		1		
		生涯発達心理学 I	2前		2		
		生涯発達心理学 II	2後		2		
		社会福祉基礎実習 II	2		1		
		社会福祉基礎実習指導	2		1		
		民法	1後		2		
		社会法	2後		2		
		行政法	2前		2		
		社会福祉法制	1前		2		
		レクリエーション活動援助法	2前		2		
		ボランティア活動支援論	2前		2		

授業科目の概要	専門科目	基幹科目	社会福祉学概論(C)、(P)	1	4		3 3単位必修 7科目20単位以上選択
			ソーシャルワーク論Ⅰ(C)	1	4		
			社会保障論(C)、(P)	2	4		
			児童福祉論(C)	2	4		
			高齢者福祉論(C)	2	4		
			障害者福祉論(C)	2	4		
			介護福祉論(C)	1後	2		
			地域福祉の理論と方法(C)、(P)	1	4		
			ソーシャルワーク演習Ⅰ(C)	1後	1		
			社会福祉研究演習Ⅰ	3	2		
			公的扶助論(C)、(P)	3		4	
			ソーシャルワーク論Ⅱ(C)	2		4	
			ソーシャルワーク論Ⅲ(C)	3		4	
			精神保健福祉援助技術総論(P)	2		4	
			女性福祉論Ⅰ	2前		2	
			女性福祉論Ⅱ	2後		2	
			保健医療サービス論(C)、(P)	2後		2	
			社会調査概論(C)	3前		2	
			ソーシャルワーク演習Ⅱ(C)	2		2	
			ソーシャルワーク演習Ⅲ(C)	3		2	
臨床心理学Ⅰ	2前		2				
臨床心理学Ⅱ	2後		2				
精神保健学(P)	3		4				
介護技術論	2前		2				
精神医学(P)	2		4				
精神保健福祉論(P)	3		6				
精神保健福祉援助技術各論(P)	3		4				
ソーシャルワーク実習(C)	3		4				
ソーシャルワーク実習指導(C)	3		2				
展開科目			ヘルスケアマネジメント論	4前	1		8単位必修 3科目5単位以上選択
			ヘルスケアマネジメント実習	4後	1		
			社会福祉研究演習Ⅱ	4	2		
			国際福祉論	3後		2	
			福祉経済学	3後		2	
			家族福祉論	3前		2	
			社会福祉施設経営論(C)	3前		2	
			精神保健福祉援助実習Ⅰ(P)	3後		1	
			精神科リハビリテーション学(P)	3		4	
			地域保健医療福祉論	4前		2	
			精神保健福祉援助演習(P)	4		2	
			精神保健福祉援助実習Ⅱ(P)	4		5	
			福祉行財政と福祉計画(C)、(P)	3前		2	
			権利擁護論(C)、(P)	3後		2	
			成年後見制度論(C)、(P)	3後		1	
			更生保護制度論(C)	3後		2	
			福祉政治学	3後		2	
			コミュニティーソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2	
			コミュニティーソーシャルワーク論Ⅱ	3後		2	
			国際ボランティア論	4前		2	
精神保健福祉援助実習指導(P)	4		1				
卒業研究	4	4					
共通選択科目			保健医療福祉特殊講義Ⅰ	1～4		1	2単位以上選択
			保健医療福祉特殊講義Ⅱ	1～4		1	
			生物の基礎	1前		1	
			化学の基礎	1前		1	
			疫学	3前		2	
			医療人類学	1前		1	
			性とセクシュアリティ	1後		1	
			精神健康論	1後		1	
			看護学概論	1前		2	
			家族援助論	2後		1	
			人間発達援助論	1後		2	

授業科目の概要	専門科目	共通選択科目	小児看護援助論Ⅰ	2後	1
			小児看護援助論Ⅱ	3前	1
			精神看護援助論	2後	2
			災害看護学	3後	1
			看護関係法規	3後	1
			リハビリテーションケア	3後	1
			クリティカルケア	3前	1
			ペリネイタルケア	3後	1
			認知症高齢者ケア	3前	1
			コンプリメンタリーセラピー	3前	1
			看護マネジメント論	4前	2
			看護教育学	3後	1
			母性心理社会学	4前	1
			運動学	1後	1
			人間発達学	1前	1
			生活活動分析学	2後	1
			障害予防概論	2後	1
			病態と生化学	3前	2
			食品学総論	1前	2
			調理学	2前	2
基礎栄養学	1前	2			
応用栄養学Ⅰ	2前	2			
臨床栄養学総論	2前	2			
公衆栄養学	2前	2			
地域栄養活動論	2後	2			

注) 「English Communication」の実施時期は、イギリスが8月、オーストラリアが2月末から3月とする。
それぞれ参加可能な学年は各学科とも、イギリスが1～4年、オーストラリアが1～3年とする。

別表4

栄養学科

対象学生:平成24年度以後に入学する学生、平成25年度以後に栄養学科に編入する学生

授業科目の名称			配当年次	単位数又は時間数		備考	
				必修	選択		
授業科目の概要	人間総合科学科目	人間と存在	人間総合科学演習	1前	2	2単位必修 4単位以上選択	
		思想と歴史		2後			2
		行動と価値		2前			2
		人間と心理		1後			2
		教育と人間		1後			2
		個人と組織		2後			2
		生涯スポーツ (NT)		2後			2
		キャリアデザイン		1前			2
		人間関係論		2後			2
	科学と論理	情報リテラシー (NT)		1前	1	1単位必修 2単位以上選択	
		情報科学 (NT)		1後			1
		科学と創造		2後			2
		情報社会と対人援助		2後			2
		調査と科学的方法		2後			2
		データ処理 I		2後			1
		データ処理 II		3前			1
	芸術と創造	人間と音楽		2後		1	1単位以上 選択
		人間と美術		2後		1	
		人間と文学		2後		1	
		人間と演劇		2後		1	
	現代社会と環境	生態系と生活		1後		2	6単位以上 選択
		科学技術と生活環境		2前		2	
		青森の風土と生活		1後		2	
		社会の動態と生活形態		1前		2	
		社会生活と法		1後		2	
		経済と生活		2前		2	
		グローバル社会と文化		2前		2	
		国際社会と日本の協力		2前		2	
		ジェンダーと社会		2後		2	
メディアリテラシー		2後		2			
言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション		2後	2	10単位必修 2単位以上選択		
	English A (NT)		1前	2			
	English B		1後	2			
	English C		2前	2			
	English D		2後	2			
	English Communication		1~4通			2	
	手話		2後			2	
	英語リーディング		1後			2	
	※韓国事情と言語		1前			2	
	※中国事情と言語		1前			2	
	※ロシア事情と言語		1後			2	
	※スペイン事情と言語 (隔年開講)		1後			2	
	※フランス事情と言語 (隔年開講)		1後			2	

授業科目の概要	健康科学部専門科目	健康科学概論	1前	1		4単位必修	
		健康科学演習	1前	1			
		ヘルスケアマネジメント論	4前	1			
		ヘルスケアマネジメント実習	4後	1			
	共通科目	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通			1	2単位以上選択
		ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通			1	
		ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通			1	
		災害支援論	2後			1	
		グローバルヘルス	1前			1	
		性とセクシュアリティ	1後			1	
		精神健康論	1前			1	
		看護学概論	1前			1	
		人間発達援助論	1後			1	
		家族援助論	2後			1	
		ペリネイタルケア	3後			1	
		認知症高齢者ケア	3前			1	
		災害看護学	3後			1	
		看護関係法規	3後			1	
		整形外科学	2前			2	
		神経内科学	2後			2	
		人間発達学	1前			1	
		障害予防概論	3後			1	
		家族社会学	1後			2	
		行政法	2前			2	
	ボランティア活動支援論	2前			2		
	女性福祉論	2前			2		
	国際ボランティア論	4前			2		
医療福祉論	3前			2			
専門科目	社会福祉学概論	1前	2			40単位必修 1単位以上選択	
	公衆衛生学Ⅰ	1後	2				
	公衆衛生学Ⅱ	2前	2				
	解剖生理学Ⅰ	1前	2				
	解剖生理学実験Ⅰ	1後	1				
	解剖生理学Ⅱ	1後	2				
	解剖生理学実験Ⅱ	2前	1				
	運動生理学	1後	1				
	生化学Ⅰ	1前	2				
	生化学実験Ⅰ	2前	1				
	生化学Ⅱ	1後	2				
	生化学実験Ⅱ	2後	1				
	微生物学	2後	2				
	病態と生化学	2前	2				
	臨床病態学	2後	2				
	薬理学	4前			1		
	食品学総論	1前	2				
	食品学各論	1後	2				
	食品機能論	1後	1				
	食品学実験Ⅰ	1前	1				
	食品学実験Ⅱ	1後	1				
	食品学実験Ⅲ	2前	1				
	食品衛生学	2前	2				
	食品衛生学実験	2後	1				
	食品加工学	2後			2		
	食品加工学実習	3後			1		
	調理学	1前	2				
調理学実習Ⅰ	1後	1					
調理学実習Ⅱ	2前	1					

授業科目の概要	専門科目	基礎栄養学	1後	2		40単位必修
		基礎栄養学実験	2前	1		
		食事摂取基準論	2前	2		
		栄養アセスメント論	2前	1		
		ライフステージ栄養学	2前	2		
		ライフスタイル栄養学	2後	1		
		健康スポーツ栄養学	3前	1		
		応用栄養学実習	2後	1		
		栄養教育論Ⅰ	2後	2		
		栄養教育論Ⅱ	3前	2		
		栄養カウンセリング論	3後	2		
		栄養教育実習Ⅰ	3前	1		
		栄養教育実習Ⅱ	3後	1		
		健康と栄養管理	1前	1		
		臨床栄養学総論	2前	2		
		臨床栄養学各論Ⅰ	2後	2		
		臨床栄養学各論Ⅱ	3前	2		
		臨床栄養学演習	3前	1		
		臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1		
		臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1		
		公衆栄養学	2前	2		
		栄養疫学	2前	1		
		地域栄養活動論	2後	2		
		公衆栄養学実習	3前	1		
		給食経営管理論Ⅰ	1後	2		
		給食経営管理論Ⅱ	2前	2		
		給食経営管理実習	2後	1		
専門科目	展開科目	総合演習	4後	1		9単位必修
		卒業研究	3後・4通	4		
		公衆栄養学臨地実習	3通	1		
		給食経営管理臨地実習	3通	1		
		臨床栄養学臨地実習Ⅰ	4通	1		
		臨床栄養学臨地実習Ⅱ	4通	1		
臨床栄養学臨地実習Ⅲ	4後		1			
専門科目	栄養教諭	日本国憲法	1後		2	24単位選択必修
		教職論	3後		2	
		教育基礎論	2前		2	
		教育心理学	1後		1	
		教育行政学	3後		1	
		教育課程論	2後		1	
		道徳教育・特別活動論	3前		1	
		教育方法論	2後		2	
		生徒指導論	2前		2	
		教育相談	2前		2	
		教職実践演習(栄養教諭)	4通		2	
		学校栄養教育論	3前		2	
		食育実践論	3前		2	
		栄養教育実習事前事後指導	4通		1	
		栄養教育実習	4通		1	
	専門科目				89単位必修 1単位以上選択	

注1) 授業科目名中、(NT)の表示がある科目は、栄養教諭免許取得希望学生必修科目。

別表4の2 教職課程

授業科目の名称		配当年次	単位数または時間数		備考
			必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	教	※生涯スポーツ	2後	2	
	職	※English A	1前	2	
	共	※情報リテラシー	1前	1	
	通	※情報科学	1後	1	
	科	日本国憲法	1後	2	
	目	教職論	3後	2	
	目	教育基礎論	2前	2	
	目	教育心理学	1後	1	
	目	教育行政学	3後	1	
	目	教育課程論	2後	1	
	目	道徳教育・特別活動論	3前	1	
	目	教育方法論	2後	2	
	目	生徒指導論	2前	2	
	目	教育相談	2前	2	
	目	教職実践演習（栄養教諭）	4通	2	
栄 養 教 諭 科 目		学校栄養教育論	3前	2	
		食育実践論	3前	2	
		栄養教育実習事前事後指導	4通	1	
		栄養教育実習	4通	1	

注1 ※は人間総合科学科目で履修しなければならない科目

別表4の3

栄養学科

教育課程	教育内容	管理栄養士学校指定規則に沿った教育課程										栄養士法施行規則に沿った教育課程									
		指定規則		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			備考	指定規則		授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			備考				
		単位数	講義又は演習			必修	選択	自由		単位数	講義又は演習			必修	選択	自由					
授業科目の概要	社会・環境と健康 専門支持科目	6単位	健康科学概論	1前	1			8単位必修	4単位以上	4単位以上	健康科学概論	1前	1			6単位必修					
			健康科学演習	1前	1						健康科学演習	1前	1								
			社会福祉学概論	1前	2						社会福祉学概論	1前	2								
			公衆衛生学Ⅰ	1後	2						公衆衛生学Ⅰ	1後	2								
		14単位	10単位	解剖生理学Ⅰ	1前	2			19単位必修	8単位以上	4単位以上	解剖生理学Ⅰ	1前	2			11単位必修				
				解剖生理学実験Ⅰ	1後	1						解剖生理学実験Ⅰ	1後	1							
				解剖生理学Ⅱ	1後	2						解剖生理学Ⅱ	1後	2							
				解剖生理学実験Ⅱ	2前	1						運動生理学	1後	1							
				運動生理学	1後	1						生化学Ⅰ	1前	2							
				生化学Ⅰ	1前	2						生化学実験Ⅰ	2前	1							
8単位	8単位	生化学実験Ⅰ	2前	1				6単位以上	6単位以上	臨床病態学	2後	2			8単位必修						
		生化学Ⅱ	1後	2						食品学総論	1前	2									
		生化学実験Ⅱ	2後	1						食品学各論	1後	2									
		微生物学	2後	2						食品学実験Ⅰ	1前	1									
		病態と生化学	2前	2						食品衛生学	2前	2									
		臨床病態学	2後	2						食品衛生学実験	2後	1									
		食品学総論	1前	2			15単位必修			8単位以上	8単位以上	食品学各論	1後	2							
		食品学各論	1後	2								食品機能論	1後	1							
食品機能論	1後	1				食品学実験Ⅰ	1前	1													
食品学実験Ⅰ	1前	1				食品学実験Ⅱ	1後	1													
食品学実験Ⅱ	1後	1				食品学実験Ⅲ	2前	1													
食品学実験Ⅲ	2前	1				食品衛生学	2前	2													
食品衛生学	2前	2				食品衛生学実験	2後	1													
食品衛生学実験	2後	1				調理学	1前	2													
授業科目の概要	基礎科目 専門科目 応用栄養学 栄養教育論 臨床栄養学 公衆栄養学 給食経営管理論	2単位	基礎栄養学	1後	2			3単位必修	8単位以上	10単位以上	基礎栄養学	1後	2			15単位必修					
			基礎栄養学実験	2前	1						基礎栄養学実験	2前	1								
		6単位	6単位	食事摂取基準論	2前	2					8単位必修	6単位以上	6単位以上	食事摂取基準論	2前	2					
				栄養アセスメント論	2前	1								栄養アセスメント論	2前	1					
				ライフステージ栄養学	2前	2								ライフステージ栄養学	2前	2					
				ライフスタイル栄養学	2後	1								ライフスタイル栄養学	2後	1					
				健康スポーツ栄養学	3前	1								健康スポーツ栄養学	3前	1					
				応用栄養学実習	2後	1								応用栄養学実習	2後	1					
		6単位	6単位	栄養教育論Ⅰ	2後	2					8単位必修	6単位以上	6単位以上	臨床栄養学総論	2前	2					
				栄養教育論Ⅱ	3前	2								臨床栄養学総論	2前	2					
栄養カウンセリング論	3後			2				臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1											
栄養教育実習Ⅰ	3前			1				臨床栄養学実習Ⅱ	4通	1											
8単位	8単位	健康と栄養管理	1前	1			10単位必修	4単位以上	4単位以上	栄養教育論Ⅰ	2後	2			9単位必修						
		臨床栄養学総論	2前	2						栄養教育実習Ⅰ	3前	1									
		臨床栄養学各論Ⅰ	2後	2						公衆栄養学	2前	2									
		臨床栄養学各論Ⅱ	3前	2						地域栄養活動論	2後	2									
		臨床栄養学演習	3前	1						公衆栄養学実習	3前	1									
		臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1						公衆栄養学実習	3後	1									
4単位	4単位	公衆栄養学	2前	2			6単位必修	4単位以上	4単位以上	調理学	1前	2			9単位必修						
		栄養疫学	2前	1						調理学実習Ⅰ	1後	1									
		地域栄養活動論	2後	2						給食経営管理論Ⅰ	1後	2									
		公衆栄養学実習	3前	1						給食経営管理論Ⅱ	2後	2									
4単位	4単位	給食経営管理論Ⅰ	1後	2			5単位必修	4単位以上	4単位以上	給食経営管理実習	2後	1									
		給食経営管理論Ⅱ	2前	2						給食経営管理実習Ⅰ	1後	1									
		給食経営管理実習	2後	1						給食経営管理実習Ⅱ	2後	1									
2単位	2単位	ヘルスクエアマネジメント論	4前	1			7単位必修	4単位以上	4単位以上	給食経営管理実習Ⅱ	3通	1									
		ヘルスクエアマネジメント実習	4後	1						給食経営管理実習Ⅲ	3通	1									
		総合演習	4後	1						臨床栄養学実習Ⅰ	4通	1									
		卒業研究	3後-4通	4						臨床栄養学実習Ⅱ	4通	1									
		公衆栄養学実習Ⅲ	3通	1			4単位必修														

別表5

看護学科

対象学生：平成30年度以後に入学する学生、令和2年度以後に看護学科に編入する学生

授 業 科 目 の 名 称		配 当 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数		備 考		
			必 修	選 択			
授業科目の概要	人間総合科学科目	人間と存在	1前		2	4単位以上選択	
		思想と歴史	1前		2		
		人間と歴史	1前		2		
		キャリアデザイン	1前		2		
		教育と人間	1前		2		
		個人と組織	1前		2		
		生涯スポーツ	1後		2		
		生涯発達とライフスタイル	1後		2		
		人間と心理	1後		2		
	人間関係論	2後		2			
	科学と論理	ラーニングスキル	1前	1			2単位必修 2単位以上選択
		人間総合科学演習	1前	1			
		統計リテラシー	1前		1		
		英語リーディング	1前		1		
		医療系科学の基礎	1前		1		
		情報機器の操作(I)	1前		1		
		情報機器の操作(II)	1後		1		
		科学と創造(理論編)	1後		1		
		科学と創造(実践編)	1後		1		
		調査と科学的方法	1後		1		
	生活と化学	2前		1			
	芸術と創造	人間と音楽	2前		1		1単位以上選択
		人間と美術	2前		1		
		人間と文学	2前		1		
		人間と演劇	2前		1		
	現代社会と生活	生活と環境	1後		2		4単位以上選択
		情報社会と対人援助	1後		2		
		災害と地域	1後		2		
		青森の風土と生活	1後		2		
		社会の動態と生活形態	1後		2		
		社会生活と法	1後		2		
		メディアリテラシー	1後		2		
		経済と生活	2前		2		
グローバル社会と文化		2前		2			
ジェンダーと社会	2前		2				
言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーションA	2前	2			8単位必修	
	English 1	1前	2				
	English 2	1後	2				
	English 3	2前	1				
	English 4	2後	1				
	English Communication	1～4通		2			
	※韓国文化と言語	1前		2		※のうち2単位以上選択	
	※中国文化と言語	1前		2			
	※ロシア文化と言語	1後		2			
	※スペイン文化と言語	1前		2			
※ろう文化と手話	1後		2				
※フランス文化と言語	1前		2				

授業科目の概要	健康科学部共通科目	ヘルスプロモーション概論	1前	2	9単位必修			
		ヘルスプロモーション演習	1前	1				
		健康情報リテラシー	1後	1				
		職業倫理とヘルスコミュニケーション	2前	1				
		セーフティプロモーション	2後	1				
		地域包括支援論	3前	1				
		ヘルスケアマネジメント論	4前	1				
		ヘルスケアマネジメント実習	4後	1				
		共通選択科目	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通			1	2単位以上選択
			ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通			1	
ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通			1				
理学療法原論	1前			1				
一般臨床医学	1後			1				
画像診断学	2後			1				
神経内科学	2後			2				
障害予防概論	3前			1				
家族社会学	1後			2				
行政法	2前			2				
ボランティア活動支援論	1後			2				
女性福祉論	2前			2				
医療福祉論	3前			2				
日本国憲法	1後			2				
食品機能論	3後		1					
補強学習科目	生物の基礎	1前			3年次編入生のみ申請により各1単位認定			
	化学の基礎	1前						
	物理の基礎	1前						
専門科目	専門支持科目	人体構造学	1前	1	19単位必修 2単位以上選択			
		人体機能学	1前	1				
		生命基礎科学	1後	1				
		感染免疫学	1後	1				
		公衆衛生学	1後	2				
		病理病態学	2前	1				
		薬理学	2後	1				
		臨床薬理学	2後	1				
		栄養代謝学	2前	1				
		成人疾病治療論Ⅰ	2前	1				
		成人疾病治療論Ⅱ	2前	2				
		老年学	2前	1				
		母性疾病治療論	3前	1				
		小児疾病治療論	3前	1				
		精神健康論	1後	1				
		精神疾病治療論	2前	1				
		保健福祉行政論	2後	1				
		疫学(PHN)	2前			2		
		グローバルヘルス	1前			1		
		バイオエシックス	1前			1		
		カウンセリング概論	1前			1		
性とセクシュアリティ	1後		1					
救急医学概論	2後		1					
基幹科目	看護学概論Ⅰ	1前	1	57単位必修				
	看護学概論Ⅱ	1前	1					
	看護形態機能学	1後	1					
	実践基礎看護技術Ⅰ	1前	3					
	実践基礎看護技術Ⅱ	1後	1					
	実践基礎看護技術Ⅲ	2前	1					
	ヘルスアセスメントⅠ	2前	1					
	ヘルスアセスメントⅡ	2前	1					
	ヘルスアセスメントⅢ	2後	1					
	看護過程	1後	1					
	看護過程演習	2前	1					

授業科目の概要	専門科目	基幹科目	健康教育論	2前	1			
			経過別看護援助論	2前	2			
			人間発達援助論	1後	1			
			家族援助論	2後	1			
			成人看護援助論 I	2後	1			
			成人看護援助論 II	2後	1			
			成人看護援助論 III	3前	1			
			成人看護援助論 IV	3前	1			
			実践経過別看護演習	3前	1			
			老年看護学概論	2前	1			
			老年看護援助論	2後	1			
			母性看護学概論	2後	1			
			母性看護援助論	3前	1			
			小児看護学概論	2後	1			
			小児看護援助論	3前	1			
			精神看護学概論	2前	1			
			精神看護援助論	2後	1			
			在宅看護学概論	2後	1			
			在宅看護援助論 I	3前	1			
			在宅看護援助論 II	3後	1			
			地域看護学	3前	2			
			看護関係法規	2後	1			
			災害看護学	3後	1			
			基礎看護実習 I	1後	2			
			基礎看護実習 II	2後	2			
			経過別看護援助実習(急性期・回復期)	3通	2			
			経過別看護援助実習(慢性期)	3通	2			
			発達援助実習(老年看護)	3通	2			
			発達援助実習(小児看護)	3通	2			
			発達援助実習(母性看護)	3通	2			
			発達援助実習(精神看護)	3通	2			
			地域看護学実習	3後	1			
			在宅看護実習	4前	2			
			展開科目	認知症高齢者ケア	3前		1	(1単位以上選択)
				コンプリメンタリーセラピー	3前		1	
				母性心理社会学(M)	3前		1	
				ペリネイタルケア(M)	3後		1	
				女性のヘルスケア(M)	3後		1	
				周産期医学 I (M)	3後		1	
				周産期医学 II (M)	3後		1	
				クリティカルケア	3後		1	
				リハビリテーションケア	3後		1	
				がん看護	3後		1	
				スキンケア論	3後		1	(3単位以上選択)
				ベイスェントセーフティ	3後		1	
				看護倫理学	3後		1	
				看護理論	3後		1	
				看護教育学	3後		1	
				看護情報学	3後		1	
健康政策学(PHN)	3後			1				
応用看護技術	4前			1	(1単位以上選択)			
応用精神看護技術	4前			1				
アドバンスト小児ヘルスケア	4前			1				
実践災害看護	4前			1				
国際看護学	4前			1				
看護研究方法論	3後	1						
看護マネジメント論	4前	1						
看護マネジメント演習	4前	1						
看護マネジメント実習	4前	2						
看護統合実習	4前	1						
卒業研究	4通	2		8単位必修 5単位以上選択				

	保健学コース	保健統計学	2後		1	保健学コース(選択)は、上記に加えて 7科目12単位必修
		個人・家族・集団の生活支援論	3後		2	
		地域保健活動論	3後		2	
		地域保健管理論	4前		2	
		地域保健研究論	4後		1	
		地域保健継続実習	4通		1	
		地域保健展開実習	4前		3	
	助産学コース	地域保健活動論	3後		2	助産学コース(選択)は、上記に加えて 9科目19単位必修
		助産学概論	3後		2	
		助産診断・技術学(妊娠期)	3後		2	
		助産診断・技術学(産褥・新生児期)	3後		2	
		助産診断・技術学(分娩期)	4前		2	
		助産診断・技術学演習	4前		1	
		助産管理	4後		1	
		助産学実習 I	4通		1	
		助産学実習 II	4通		6	

注) 授業科目名中、(PHN)の表示がある科目は、保健学コース(選択)必修科目。

注) 授業科目名中、(M)の表示がある科目は、助産学コース(選択)必修科目。

別表5

理学療法学科

対象学生：平成30年度以後に入学する学生、令和2年度以後に理学療法学科に編入する学生

授業科目の概要	授業科目	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数		備考
				必修	選択	
授業科目の概要	人間総合科学科目	人間と歴史	1前		2	4単位以上選択
		人間と歴史	1前		2	
		キャリアデザイン	1前		2	
		教育と人間	1前		2	
		個人と組織	1前		2	
		生涯スポーツ	1後		2	
		生涯発達とライフスタイル	1後		2	
		人間と心理	1後		2	
		人間関係論	2後		2	
		科学と論理	ラーニングスキル	1前	1	
	人間総合科学演習	1前	1			
	統計リテラシー	1前		1		
	英語リーディング	1前		1		
	医療系科学の基礎	1前		1		
	情報機器の操作(Ⅰ)	1前		1		
	情報機器の操作(Ⅱ)	1後		1		
	科学と創造(理論編)	1後		1		
	科学と創造(実践編)	1後		1		
	調査と科学的方法	1後		1		
	生活と化学	2前		1		
	芸術と創造	人間と音楽	2前		1	1単位以上選択
		人間と美術	2前		1	
		人間と文学	2前		1	
		人間と演劇	2前		1	
	現代社会と生活	生活と環境	1後		2	4単位以上選択
		情報社会と対人援助	1後		2	
		災害と地域	1後		2	
		青森の風土と生活	1後		2	
		社会の動態と生活形態	1後		2	
		社会生活と法	1後		2	
		メディアリテラシー	1後		2	
		経済と生活	2前		2	
		グローバル社会と文化	2前		2	
ジェンダーと社会	2前		2			
言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーションB	2後	2		8単位必修	
	English 1	1前	2			
	English 2	1後	2			
	English 3	2前	1			
	English 4	2後	1			
	English Communication	1~4通		2		
	※韓国文化と言語	1前		2	※のうち2単位以上選択	
	※中国文化と言語	1前		2		
	※ロシア文化と言語	1後		2		
	※スペイン文化と言語	1前		2		
	※ろう文化と手話	1後		2		
	※フランス文化と言語	1前		2		

授業科目の概要	専門科目	理学療法原論	1前	1		30単位必修 2単位以上選択
		理学療法基礎演習	1前	1		
		理学療法演習	3前	1		
		理学療法評価学	1後	1		
		理学療法評価学演習	2前	2		
		理学療法評価学実習	1後	1		
		臨床運動学	3前	2		
		基礎運動療法学	1後	1		
		基礎運動療法学実習	2前	1		
		運動器障害理学療法学	2前	1		
		運動器障害理学療法学実習	2前	1		
		神経障害理学療法学	2後	1		
		神経障害理学療法学実習	2後	1		
		呼吸循環障害理学療法学	2後	2		
		呼吸循環障害理学療法学実習	3前	1		
		内部障害理学療法学	3後	1		
		発達障害理学療法学	2後	1		
		発達障害理学療法学実習	3前	1		
		物理療法学	1後	1		
		物理療法学実習	1後	1		
		生活活動分析学	2後	1		
		生活活動分析学実習	3前	1		
		生活環境学	4前	1		
		地域理学療法学	3前	1		
		義肢装具学	2後	1		
		理学療法総合治療学演習Ⅰ	2後	1		
		理学療法総合治療学演習Ⅱ	3後	1		
		障害予防概論	3前		1	
		スポーツ障害理学療法論	3前		1	
		高齢障害理学療法論	3前		1	
		難病のリハビリテーション	3前		1	
展開科目	理学療法特殊講義Ⅰ	4後		1	(1単位以上選択)	
	理学療法特殊講義Ⅱ	4後		1		
	臨床判断分析学	2後	1		26単位必修 1単位以上選択	
	臨床評価実習	3前	2			
	総合臨床実習Ⅰ	3後	6			
	総合臨床実習Ⅱ	3後	6			
	総合臨床実習Ⅲ	4前	6			
	理学療法研究方法論	2前	1			
卒業研究	4通	4				

別表5

栄養学科

対象学生:平成30年度以後に入学する学生、平成31年度以後に栄養学科に編入する学生

授 業 科 目 の 名 称		配 当 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数		備 考		
			必 修	選 択			
授業科目の概要	人間総合科学科目	人間と歴史	1前		2	4単位以上選択	
		人間と歴史	1前		2		
		キャリアデザイン	1前		2		
		教育と人間	1前		2		
		個人と組織	1前		2		
		生涯スポーツ(NT)	1後		2		
		生涯発達とライフスタイル	1後		2		
		人間と心理	1後		2		
		人間関係論	2後		2		
	科学と論理	ラーニングスキル	1前	1			3単位必修 1単位以上選択
		人間総合科学演習	1前	1			
		統計リテラシー	1前		1		
		英語リーディング	1前		1		
		医療系科学の基礎	1前		1		
		情報機器の操作(Ⅰ)(NT)	1前		1		
		情報機器の操作(Ⅱ)(NT)	1後		1		
		科学と創造(理論編)	1後		1		
		科学と創造(実践編)	1後		1		
		調査と科学的方法	1後		1		
	生活と化学	2前	1				
	芸術と創造	人間と音楽	2前		1		1単位以上選択
		人間と美術	2前		1		
		人間と文学	2前		1		
		人間と演劇	2前		1		
	現代社会と生活	生活と環境	1後		2		4単位以上選択
		情報社会と対人援助	1後		2		
		災害と地域	1後		2		
		青森の風土と生活	1後		2		
		社会の動態と生活形態	1後		2		
		社会生活と法	1後		2		
		メディアリテラシー	1後		2		
		経済と生活	2前		2		
		グローバル社会と文化	2前		2		
	ジェンダーと社会	2前		2			
	言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーションB	2後	2			8単位必修
		English 1(NT)	1前	2			
English 2		1後	2				
English 3		2前	1				
English 4		2後	1				
English Communication		1~4通		2			
※韓国文化と言語		1前		2		※のうち2単位以上選択	
※中国文化と言語		1前		2			
※ロシア文化と言語		1後		2			
※スペイン文化と言語		1前		2			
※ろう文化と手話	1後		2				
※フランス文化と言語	1前		2				

授業科目の概要	健康科学部共通科目	ヘルスプロモーション概論	1前	2		9単位必修		
		ヘルスプロモーション演習	1前	1				
		健康情報リテラシー	1後	1				
		職業倫理とヘルスコミュニケーション	2前	1				
		セーフティプロモーション	2後	1				
		地域包括支援論	3前	1				
		ヘルスケアマネジメント論	4前	1				
		ヘルスケアマネジメント実習	4後	1				
	共通選択科目	共	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通		1	2単位以上選択	
		通	ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通		1		
		選	ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通		1		
		目	択	グローバルヘルス	1前			1
			科	性とセクシュアリティ	1後			1
			目	看護学概論Ⅰ	1前			1
				人間発達援助論	1後			1
				家族援助論	2後			1
				認知症高齢者ケア	3前			1
				災害看護学	3後			1
				看護関係法規	2後			1
				ペイシエントセーフティ	3後			1
	ペリネイタルケア		3後		1			
	理学療法原論	1前		1				
	一般臨床医学	1後		1				
	画像診断学	2後		1				
	神経内科学	2後		2				
	障害予防概論	3前		1				
	家族社会学	1後		2				
	行政法	2前		2				
	ボランティア活動支援論	1後		2				
	女性福祉論	2前		2				
	医療福祉論	3前		2				

授業科目の概要	専門科目	社会福祉学概論	1前	2		41単位必修 1単位以上選択
		公衆衛生学Ⅰ	1後	2		
		公衆衛生学Ⅱ	2前	2		
		栄養疫学	3後	1		
		解剖生理学Ⅰ	1前	2		
		解剖生理学実験Ⅰ	1後	1		
		解剖生理学Ⅱ	1後	2		
		解剖生理学実験Ⅱ	2前	1		
		運動生理学	1後	1		
		生化学Ⅰ	1前	2		
		生化学実験Ⅰ	2前	1		
		生化学Ⅱ	1後	2		
		生化学実験Ⅱ	2後	1		
		微生物学	2後	2		
		分子栄養学	3後	1		
		臨床病態学	2後	2		
		薬理学	4前		1	
		食品学総論	1前	2		
		食品学各論	1後	2		
		食品機能論	3後		1	
		食品学実験Ⅰ	1前	1		
		食品学実験Ⅱ	1後	1		
		食品衛生学	2前	2		
		食品衛生学実験	2後	1		
	食品加工学	3前	2			
	食品加工学実習	3後	1			
	調理学	1前	2			
	調理学実習Ⅰ	1後	1			
	調理学実習Ⅱ	2前	1			
	基幹科目	基礎栄養学	1後	2		39単位必修
		基礎栄養学実験	2前	1		
		食事摂取基準論	2前	2		
		栄養アセスメント論	1後	1		
		ライフステージ栄養学	2前	2		
		ライフスタイル栄養学	2後	1		
		健康スポーツ栄養学	3前	1		
		応用栄養学実習	2後	1		
		栄養教育論Ⅰ	2後	2		
		栄養教育論Ⅱ	3前	2		
		栄養カウンセリング論	3後	2		
		栄養教育実習Ⅰ	3前	1		
栄養教育実習Ⅱ		3後	1			
健康と栄養管理		1前	1			
臨床栄養学総論		2前	2			
臨床栄養学各論Ⅰ		2後	2			
臨床栄養学各論Ⅱ		3前	2			
臨床栄養学演習		3前	1			
臨床栄養学実習Ⅰ		3前	1			
臨床栄養学実習Ⅱ		3後	1			
公衆栄養学	2前	2				
地域栄養活動論	2後	2				
公衆栄養学実習	3前	1				
給食経営管理論Ⅰ	1後	2				
給食経営管理論Ⅱ	2前	2				
給食経営管理実習	2後	1				
展開科目	総合演習Ⅰ	4前	1		9単位必修	
	総合演習Ⅱ	4後	1			
	卒業研究	3後・4通	3			
	公衆栄養学臨地実習Ⅰ	3通	1			
	公衆栄養学臨地実習Ⅱ	3後		1		
	給食経営管理臨地実習	3通	1			
	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	4通	1			
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	4通	1				
臨床栄養学臨地実習Ⅲ	4後		1			

栄 養 教 諭 科 目	日本国憲法(NT)	1後		2	24単位選択必修
	教職論(NT)	3後		2	
	教育基礎論(NT)	2前		2	
	教育心理学(NT)	1後		1	
	教育行政学(NT)	3後		1	
	教育課程論(NT)	2後		1	
	道德教育・特別活動論(NT)	3前		1	
	教育方法論(NT)	2後		2	
	生徒指導論(NT)	2前		2	
	教育相談(NT)	2前		2	
	教職実践演習(栄養教諭)(NT)	4通		2	
	学校栄養教育論(NT)	3前		2	
	食育実践論(NT)	3前		2	
	栄養教育実習事前事後指導(NT)	4通		1	
	栄養教育実習(NT)	4通		1	

注1) 授業科目名中、(NT)の表示がある科目は、栄養教諭免許取得希望学生必修科目。

別表5

社会福祉学科

対象学生：平成24年度以後に入学する学生、平成25年度以後に社会福祉学科に編入する学生

授業科目の名称			配当年次	単位数又は時間数		備考
				必修	選択	
授業科目の概要	人間総合科学科目	人間と存在	1前	2		2単位必修 4単位以上選択
		人間総合科学演習	2後		2	
		思想と歴史	2前		2	
		行動と価値	1後		2	
		人間と心理	1後		2	
		教育と人間	2後		2	
		個人と組織	2後		2	
		生涯スポーツ	1前		2	
		キャリアデザイン	2後		2	
	人間関係論					
	科学と論理	情報リテラシー	1前	1		1単位必修 2単位以上選択
		情報科学	1後		1	
		科学と創造	2後		2	
		情報社会と対人援助	2後		2	
		調査と科学的方法	2後		2	
		データ処理Ⅰ	2後		1	
		データ処理Ⅱ	3前		1	
	芸術と創造	人間と音楽	2後		1	1単位以上選択
		人間と美術	2後		1	
		人間と文学	2後		1	
		人間と演劇	2後		1	
	現代社会と環境	生態系と生活	1後		2	6単位以上選択
		科学技術と生活環境	2前		2	
		青森の風土と生活	1後		2	
		社会の動態と生活形態	1前		2	
		社会生活と法	1後		2	
		経済と生活	2前		2	
グローバル社会と文化		2前		2		
国際社会と日本の協力		2前		2		
ジェンダーと社会		2後		2		
メディアリテラシー		2後		2		
言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	2後	2		10単位必修 2単位以上選択 (※から少なくとも2単位以上選択)	
	English A	1前	2			
	English B	1後	2			
	English C	2前	2			
	English D	2後	2			
	English Communication	1～4通		2		
	手話	2後		2		
	英語リーディング	1後		2		
	※韓国事情と言語	1前		2		
	※中国事情と言語	1前		2		
	※ロシア事情と言語	1後		2		
	※スペイン事情と言語（隔年開講）	1後		2		
	※フランス事情と言語（隔年開講）	1後		2		

授業科目の概要	健康科学部専門科目	学部科目	健康科学概論	1 前	1		4 単位必修
			健康科学演習	1 前	1		
		ヘルスケアマネジメント論	4 前	1			
		ヘルスケアマネジメント実習	4 後	1			
	共通選科目		ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通		1	2 単位以上選択
			ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通		1	
			ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通		1	
			災害支援論	2後		1	
			グローバルヘルス	1前		1	
			性とセクシュアリティ	1後		1	
			精神健康論	1前		1	
			看護学概論	1前		1	
			人間発達援助論	1後		1	
			家族援助論	2後		1	
			ペリネイタルケア	3後		1	
			認知症高齢者ケア	3前		1	
			災害看護学	3後		1	
			看護関係法規	3後		1	
			整形外科学	2前		2	
			神経内科学	2後		2	
			人間発達学	1前		1	
			障害予防概論	3後		1	
			病態と生化学	2 前		2	
			食品学総論	1前		2	
			調理学	1 前		2	
			健康スポーツ栄養学	3 前		1	
			公衆栄養学	2 前		2	
			栄養疫学	2 前		1	
専門科目群	専門支持科目		社会学 (C)、(P)	1 前	2		1 3 単位必修 4 科目 8 単位以上選択
			心理学 (C)、(P)	1 後	2		
			法学	1 前	2		
			社会福祉基礎論	1 前	2		
			家族社会学	1 後	2		
			人体の構造と機能及び疾病 (C)、(P)	2 前	2		
			社会福祉基礎実習Ⅰ	1通	1		
			保健概論	1 後		1	
			生涯発達心理学	2 前		2	
			リハビリテーション論	2 後		2	
			社会福祉法制	1 前		2	
			民法	1 後		2	
			行政法	2 前		2	
			社会法	2 後		2	
			ボランティア活動支援論	2 前		2	
			レクリエーション活動援助法	2 前		2	
			社会福祉基礎実習Ⅱ	2通		1	
			社会福祉基礎実習指導	2通		1	

授業科目の概要	専門科目群	基幹科目	社会福祉学概論(C)、(P)	1通	4	36単位必修 7科目20単位以上選択
			ソーシャルワーク論Ⅰ(C)	1通	4	
			地域福祉の理論と方法(C)、(P)	1通	4	
			介護福祉論(C)	1後	2	
			社会保障論(C)、(P)	2通	4	
			児童福祉論(C)	2通	4	
			高齢者福祉論(C)	2通	4	
			障害者福祉論(C)、(P)	2通	4	
			就労支援論(C)	3前	2	
			ソーシャルワーク演習Ⅰ(C)、(P)	1通	2	
			社会福祉研究演習Ⅰ	3通	2	
			ソーシャルワーク論Ⅱ(C)	2通	4	
			ソーシャルワーク論Ⅲ(C)	3通	4	
			女性福祉論	2前	2	
			介護技術論	2前	2	
			臨床心理学	2後	2	
			精神医学(P)	2通	4	
			保健医療サービス論(C)、(P)	2後	2	
			医療福祉論	3前	2	
		精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)(P)	2前	2		
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)(P)	2後	2		
		公的扶助論(C)、(P)	3通	4		
		社会調査概論(C)	3前	2		
		精神保健(P)	3通	4		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ(P)	2後	2		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(P)	3通	4		
		ソーシャルワーク演習Ⅱ(C)、(P)	2通	2		
		ソーシャルワーク演習Ⅲ(C)、(P)	3前	1		
		ソーシャルワーク実習(C)	3通	4		
		ソーシャルワーク実習指導(C)	3通	2		
	展開科目	権利擁護論(C)、(P)	3後	2	8単位必修 3科目5単位以上選択	
		社会福祉研究演習Ⅱ	4通	2		
		家族福祉論	3前	2		
		社会福祉施設経営論(C)	3前	2		
		福祉行財政と福祉計画(C)、(P)	3前	2		
		司法福祉論	3前	2		
		更生保護制度論(C)	3後	2		
		成年後見制度論(C)、(P)	3後	1		
		国際福祉論	3後	2		
		国際ボランティア論	4前	2		
		精神保健福祉論(P)	3通	4		
		精神障害者の生活支援システム(P)	3後	2		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ(P)	4前	2		
		精神保健福祉援助演習Ⅰ(P)	3通	1		
		精神保健福祉援助演習Ⅱ(P)	4通	2		
		精神保健福祉援助実習Ⅰ(P)	3後	1		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(P)	3後	1		
		精神保健福祉援助実習Ⅱ(P)	4通	4		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(P)	4通	1		
		卒業研究	4通	4		

注1) 授業科目名中、(C)の表示がある科目は、社会福祉士指定科目である。

注2) 授業科目名中、(P)の表示がある科目は、精神保健福祉士指定科目である。

別表5の2

理学療法学科

対象学生: 令和2年度以後に理学療法学科に入学する学生

授 業 科 目 の 名 称			配 当 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数		備 考
				必 修	選 択	
授 業 科 目 の 概 要	人 間 総 合 科 学 科 目	人間と歴史	1前		2	4単位以上選択
		人間と歴史	1前		2	
		キャリアデザイン	1前		2	
		教育と人間	1前		2	
		個人と組織	1前		2	
		生涯スポーツ	1後		2	
		生涯発達とライフスタイル	1後		2	
		人間と心理	1後		2	
		人間関係論	2後		2	
	科 学 と 論 理	ラーニングスキル	1前	1		2単位必修 2単位以上選択
		人間総合科学演習	1前	1		
		統計リテラシー	1前		1	
		英語リーディング	1前		1	
		医療系科学の基礎	1前		1	
		情報機器の操作(I)	1前		1	
		情報機器の操作(II)	1後		1	
		科学と創造(理論編)	1後		1	
		科学と創造(実践編)	1後		1	
		調査と科学的方法	1後		1	
	生活と化学	2前		1		
	芸 術 と 創 造	人間と音楽	2前		1	1単位以上選択
		人間と美術	2前		1	
		人間と文学	2前		1	
		人間と演劇	2前		1	
	現 代 社 会 と 生 活	生活と環境	1後		2	4単位以上選択
		情報社会と対人援助	1後		2	
		災害と地域	1後		2	
		青森の風土と生活	1後		2	
		社会の動態と生活形態	1後		2	
		社会生活と法	1後		2	
		メディアリテラシー	1後		2	
		経済と生活	2前		2	
		グローバル社会と文化	2前		2	
		ジェンダーと社会	2前		2	
	言 語 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	人間関係とコミュニケーションB	2後	2		8単位必修
		English 1	1前	2		
English 2		1後	2			
English 3		2前	1			
English 4		2後	1			
English Communication		1~4通		2		
※韓国文化と言語		1前		2	※のうち2単位以上選択	
※中国文化と言語		1前		2		
※ロシア文化と言語		1後		2		
※スペイン文化と言語		1前		2		
※ろう文化と手話		1後		2		
※フランス文化と言語		1前		2		

授業科目の概要	健康科学部共通科目	ヘルスプロモーション概論	1前	2	9単位必修
		ヘルスプロモーション演習	1前	1	
健康情報リテラシー		1後	1		
職業倫理とヘルスコミュニケーション		2前	1		
セーフティプロモーション		2後	1		
地域包括支援論		3前	1		
ヘルスケアマネジメント論		4前	1		
ヘルスケアマネジメント実習		4後	1		
共通選択科目		ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通	1	
ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通	1			
ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通	1			
グローバルヘルス	1前	1			
性とセクシュアリティ	1後	1			
看護学概論Ⅰ	1前	1			
人間発達援助論	1後	1			
家族援助論	2後	1			
認知症高齢者ケア	3前	1			
災害看護学	3後	1			
看護関係法規	2後	1			
パシエントセーフティ	3後	1			
ペリネイタルケア	3後	1			
家族社会学	1後	2			
行政法	2前	2			
ボランティア活動支援論	1後	2			
女性福祉論	2前	2			
医療福祉論	3前	2			
日本国憲法	1後	2			
食品機能論	3後	1			
専門科目	専門	解剖学	1前	2	29単位必修
	運動器解剖学	1後	1		
	支筋・骨格系解剖学実習	1後	1		
	持解剖学総合実習	2前	1		
	科生理学	1前	2		
	目生理学実習	2前	1		
	運動生理学	1後	1		
	運動学	1後	1		
	運動学演習	1後	1		
	運動学実習	2前	1		
	病理病態学	2前	1		
	画像診断学	2後	1		
	リハビリテーション論	1前	2		
	リハビリテーション医学	2後	2		
	一般臨床医学	1後	1		
	内科学	1後	1		
	整形外科	2前	1		
	神経内科学	2後	1		
	脳神経外科学	2前	1		
	精神医学	3前	1		
	小児疾病治療論	3前	1		
	老年医学	3前	1		
	救急医学概論	2後	1		
	臨床薬理学	2後	1		
	栄養代謝学	2前	1		

授業科目の概要	専門科目	基幹科目	理学療法原論	1前	1		31単位必修 2単位以上選択
			理学療法演習	3前	1		
			理学療法評価学	1後	1		
			理学療法評価学演習	2前	2		
			理学療法評価学実習	1後	1		
			理学療法総合評価学演習	3前	1		
			臨床運動学	3前	2		
			基礎運動療法学	1後	1		
			基礎運動療法学実習	2前	1		
			運動器障害理学療法学	2前	1		
			運動器障害理学療法学実習	2前	1		
			神経障害理学療法学	2後	1		
			神経障害理学療法学実習	2後	1		
			呼吸循環障害理学療法学	2後	1		
			呼吸循環障害理学療法学実習	3前	1		
			内部障害理学療法学	3後	1		
			発達障害理学療法学	2後	1		
			発達障害理学療法学実習	3前	1		
			物理療法学	1後	1		
			物理療法学実習	1後	1		
			生活活動分析学	2後	1		
			生活活動分析学実習	3前	1		
			生活環境学	4前	1		
			地域理学療法学	3前	1		
			義肢装具学	2後	1		
			理学療法総合治療学演習Ⅰ	2後	1		
			理学療法総合治療学演習Ⅱ	3後	1		
			理学療法管理学	4後	1		
			障害予防と理学療法	2前	1		
			スポーツ障害理学療法論	2後		1	
			疼痛の理学療法	2前		1	
高齢障害理学療法論	4前		1				
難病のリハビリテーション	4前		1				
展開科目	展 開 科 目	臨床判断分析学	2後	1		29単位必修	
		理学療法教育学	4前	2			
		臨床評価実習	3前	2			
		総合臨床実習Ⅰ	3後	6			
		総合臨床実習Ⅱ	3後	6			
		総合臨床実習Ⅲ	4前	6			
		理学療法研究方法論	2前	1			
卒業研究	4通	4					

(2単位以上選択)

別表5の2

栄養学科

対象学生:平成31年度以後に入学する学生、令和2年度以後に栄養学科に編入する学生

授 業 科 目 の 名 称	配 当 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数		備 考	
		必 修	選 択		
授 業 科 目 の 概 要 人 間 総 合 科 学 科 目 人 間 と 存 在	思想と歴史	1前		2	4単位以上選択
	人間と歴史	1前		2	
	キャリアデザイン	1前		2	
	教育と人間	1前		2	
	個人と組織	1前		2	
	生涯スポーツ(NT)	1後		2	
	生涯発達とライフスタイル	1後		2	
	人間と心理	1後		2	
	人間関係論	2後		2	
科 学 と 論 理	ラーニングスキル	1前	1		3単位必修 1単位以上選択
	人間総合科学演習	1前	1		
	統計リテラシー	1前		1	
	英語リーディング	1前		1	
	医療系科学の基礎	1前		1	
	情報機器の操作(Ⅰ)(NT)	1前		1	
	情報機器の操作(Ⅱ)(NT)	1後		1	
	科学と創造(理論編)	1後		1	
	科学と創造(実践編)	1後		1	
	調査と科学的方法	1後		1	
	生活と化学	2前	1		
芸 術 と 創 造	人間と音楽	2前		1	1単位以上選択
	人間と美術	2前		1	
	人間と文学	2前		1	
	人間と演劇	2前		1	
現 代 社 会 と 生 活	生活と環境	1後		2	4単位以上選択
	情報社会と対人援助	1後		2	
	災害と地域	1後		2	
	青森の風土と生活	1後		2	
	社会の動態と生活形態	1後		2	
	社会生活と法	1後		2	
	メディアリテラシー	1後		2	
	経済と生活	2前		2	
	グローバル社会と文化	2前		2	
	ジェンダーと社会	2前		2	
言 語 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	人間関係とコミュニケーションB	2後	2		8単位必修
	English 1(NT)	1前	2		
	English 2	1後	2		
	English 3	2前	1		
	English 4	2後	1		
	English Communication	1~4通		2	
	※韓国文化と言語	1前		2	※のうち2単位以上選択
	※中国文化と言語	1前		2	
	※ロシア文化と言語	1後		2	
	※スペイン文化と言語	1前		2	
	※ろう文化と手話	1後		2	
	※フランス文化と言語	1前		2	

授業科目の概要	健康科学部共通科目	ヘルスプロモーション概論	1前	2		9単位必修
		ヘルスプロモーション演習	1前	1		
健康情報リテラシー	1後	1				
職業倫理とヘルスコミュニケーション	2前	1				
セーフティプロモーション	2後	1				
地域包括支援論	3前	1				
ヘルスケアマネジメント論	4前	1				
ヘルスケアマネジメント実習	4後	1				
共通選択科目	共	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通		1	
	通	ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通		1	
	選	ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通		1	
	択	グローバルヘルス	1前		1	
	科	性とセクシュアリティ	1後		1	
	目	看護学概論Ⅰ	1前		1	
		人間発達援助論	1後		1	
		家族援助論	2後		1	
		認知症高齢者ケア	3前		1	
		災害看護学	3後		1	
		看護関係法規	2後		1	
		ペイシエント・セーフティ	3後		1	
		ペリネイタルケア	3後		1	
		理学療法原論	1前		1	
		一般臨床医学	1後		1	
		画像診断学	2後		1	
		神経内科学	2後		2	
		障害予防概論	3前		1	
		家族社会学	1後		2	
		行政法	2前		2	
		ボランティア活動支援論	1後		2	
		女性福祉論	2前		2	
		医療福祉論	3前		2	

授業科目の概要	専門科目	社会福祉学概論	1前	2		41単位必修 1単位以上選択
		公衆衛生学Ⅰ	1後	2		
		公衆衛生学Ⅱ	2前	2		
		栄養疫学	3後	1		
		解剖生理学Ⅰ	1前	2		
		解剖生理学実験Ⅰ	1後	1		
		解剖生理学Ⅱ	1後	2		
		解剖生理学実験Ⅱ	2前	1		
		運動生理学	1後	1		
		生化学Ⅰ	1前	2		
		生化学実験Ⅰ	2前	1		
		生化学Ⅱ	1後	2		
		生化学実験Ⅱ	2後	1		
		微生物学	2後	2		
		分子栄養学	3後	1		
		臨床病態学	2後	2		
		薬理学	3後		1	
		食品学総論	1前	2		
		食品学各論	1後	2		
		食品機能論	3後		1	
		食品学実験Ⅰ	1前	1		
		食品学実験Ⅱ	1後	1		
		食品衛生学	2前	2		
		食品衛生学実験	2後	1		
	食品加工学	3前	2			
	食品加工学実習	3後	1			
	調理学	1前	2			
	調理学実習Ⅰ	1後	1			
	調理学実習Ⅱ	2前	1			
	基幹科目	基礎栄養学	1後	2		39単位必修
		基礎栄養学実験	2前	1		
		食事摂取基準論	2前	2		
		栄養アセスメント論	1後	1		
		ライフステージ栄養学	2前	2		
		ライフスタイル栄養学	2後	1		
		健康スポーツ栄養学	3前	1		
		応用栄養学実習	2後	1		
		栄養教育論Ⅰ	2後	2		
		栄養教育論Ⅱ	3前	2		
		栄養カウンセリング論	3後	2		
		栄養教育実習Ⅰ	3前	1		
栄養教育実習Ⅱ		3後	1			
健康と栄養管理		1前	1			
臨床栄養学総論		2前	2			
臨床栄養学各論Ⅰ		2後	2			
臨床栄養学各論Ⅱ		3前	2			
臨床栄養学演習		3前	1			
臨床栄養学実習Ⅰ		3前	1			
臨床栄養学実習Ⅱ		3後	1			
公衆栄養学	2前	2				
地域栄養活動論	2後	2				
公衆栄養学実習	3前	1				
給食経営管理論Ⅰ	1後	2				
給食経営管理論Ⅱ	2前	2				
給食経営管理実習	2後	1				
展開科目	総合演習Ⅰ	4前	1		9単位必修	
	総合演習Ⅱ	4後	1			
	卒業研究	3後・4通	3			
	公衆栄養学臨地実習Ⅰ	3通	1			
	公衆栄養学臨地実習Ⅱ	3後		1		
	給食経営管理臨地実習	3通	1			
	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	4通	1			
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	4通	1				
臨床栄養学臨地実習Ⅲ	4後		1			

栄 養 教 諭 科 目	日本国憲法(NT)	1後		2	24単位選択必修
	教職論(NT)	3後		2	
	教育基礎論(NT)	2前		2	
	教育心理学(NT)	1後		1	
	教育行政学(NT)	3後		1	
	教育課程論(NT)	2後		1	
	道德教育・特別活動論(NT)	3前		1	
	教育方法論(NT)	2後		2	
	生徒指導論(NT)	2前		1	
	教育相談(NT)	2前		1	
	教職実践演習(栄養教諭)(NT)	4通		2	
	学校栄養教育論(NT)	3前		2	
	食育実践論(NT)	3前		2	
	「総合的な学習の時間」指導法概論(NT)	3後		1	
	特別支援教育論(NT)	3後		1	
	栄養教育実習事前事後指導(NT)	4通		1	
	栄養教育実習(NT)	4通		1	

注1) 授業科目名中、(NT)の表示がある科目は、栄養教諭免許取得希望学生必修科目。

別表6

社会福祉学科

対象学生:平成30年度以後に入学する学生、平成31年度以後に社会福祉学科に編入する学生

授業科目の概要	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数		備考	
			必修	選択		
授業科目の概要	人間と存在	思想と歴史	1前		2	4単位以上選択
	人間と存在	人間と歴史	1前		2	
	人間と存在	キャリアデザイン	1前		2	
	人間と存在	教育と人間	1前		2	
	人間と存在	個人と組織	1前		2	
	人間と存在	生涯スポーツ	1後		2	
	人間と存在	生涯発達とライフスタイル	1後		2	
	人間と存在	人間と心理	1後		2	
	人間と存在	人間関係論	2後		2	
	科学と論理	ラーニングスキル	1前	1		2単位必修 2単位以上選択
		人間総合科学演習	1前	1		
		統計リテラシー	1前		1	
		英語リーディング	1前		1	
		医療系科学の基礎	1前		1	
		情報機器の操作(Ⅰ)	1前		1	
		情報機器の操作(Ⅱ)	1後		1	
		科学と創造(理論編)	1後		1	
		科学と創造(実践編)	1後		1	
		調査と科学的方法	1後		1	
	生活と化学	2前		1		
	芸術と創造	人間と音楽	2前		1	1単位以上選択
		人間と美術	2前		1	
		人間と文学	2前		1	
		人間と演劇	2前		1	
	現代社会と生活	生活と環境	1後		2	4単位以上選択
		情報社会と対人援助	1後		2	
		災害と地域	1後		2	
		青森の風土と生活	1後		2	
		社会の動態と生活形態	1後		2	
		社会生活と法	1後		2	
		メディアリテラシー	1後		2	
		経済と生活	2前		2	
		グローバル社会と文化	2前		2	
ジェンダーと社会	2前		2			
言語とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーションB	2後	2		8単位必修	
	English 1	1前	2			
	English 2	1後	2			
	English 3	2前	1			
	English 4	2後	1			
	English Communication	1~4通		2		
	※韓国文化と言語	1前		2	※のうち2単位以上選択	
	※中国文化と言語	1前		2		
	※ロシア文化と言語	1後		2		
	※スペイン文化と言語	1前		2		
	※ろう文化と手話	1後		2		
※フランス文化と言語	1前		2			

授業科目の概要	健康科学部共通科目	ヘルスプロモーション概論	1前	2	9単位必修	
		ヘルスプロモーション演習	1前	1		
		健康情報リテラシー	1後	1		
職業倫理とヘルスコミュニケーション	2前	1				
セーフティプロモーション	2後	1				
地域包括支援論	3前	1				
ヘルスケアマネジメント論	4前	1				
ヘルスケアマネジメント実習	4後	1				
共通選択科目	共通	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通	1		2単位以上選択
	共通	ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通	1		
	共通	ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通	1		
	選択	グローバルヘルス	1前	1		
	選択	性とセクシュアリティ	1後	1		
	科目	看護学概論Ⅰ	1前	1		
		人間発達援助論	1後	1		
		家族援助論	2後	1		
		認知症高齢者ケア	3前	1		
		災害看護学	3後	1		
		看護関係法規	2後	1		
		パシエントセーフティ	3後	1		
		パリエイタルケア	3後	1		
		理学療法原論	1前	1		
		一般臨床医学	1後	1		
		画像診断学	2後	1		
		神経内科学	2後	2		
		障害予防概論	3前	1		
		日本国憲法	1後	2		
		食品機能論	3後	1		
専門科目	専門	社会学(C)、(P)	1前	2	7単位必修 5科目9単位以上選択	
	専門	心理学(C)、(P)	1後	2		
	支	人体の構造と機能及び疾病(C)、(P)	2前	2		
	持	社会福祉基礎実習Ⅰ	1通	1		
	科	法学	1前	2		
	目	家族社会学	1後	2		
		生涯発達心理学	2前	2		
		リハビリテーション論	2後	2		
		社会福祉法制	1後	2		
		民法	1後	2		
		行政法	2前	2		
		社会法	2後	2		
		ボランティア活動支援論	1後	2		
		レクリエーション活動援助法	2前	2		
		社会福祉基礎実習Ⅱ	2通	1		
		社会福祉基礎実習指導	2通	1		

授業科目の概要	専門科目	基幹科	社会福祉学概論Ⅰ (C)、(P)	1前	2	30単位必修 12科目26単位以上選択
			社会福祉学概論Ⅱ (C)、(P)	1後	2	
			ソーシャルワーク論Ⅰ (C)、(P)	1前	2	
			ソーシャルワーク論Ⅱ (C)、(P)	1後	2	
			地域福祉の理論と方法Ⅰ (C)、(P)	1前	2	
			地域福祉の理論と方法Ⅱ (C)、(P)	1後	2	
			社会保障論Ⅰ (C)、(P)	2前	2	
			社会保障論Ⅱ (C)、(P)	2後	2	
			児童福祉論Ⅰ (C)	2前	2	
			高齢者福祉論Ⅰ (C)	2前	2	
			高齢者福祉論Ⅱ (C)	2後	2	
			障害者福祉論Ⅰ (C)、(P)	2前	2	
			就労支援論 (C)	3前	2	
			ソーシャルワーク演習Ⅰ (C)、(P)	1通	2	
			社会福祉研究演習Ⅰ	3通	2	
			ソーシャルワーク論Ⅲ (C)	2前	2	
			ソーシャルワーク論Ⅳ (C)	2後	2	
			介護福祉論	1後	2	
			児童福祉論Ⅱ	2後	2	
			障害者福祉論Ⅱ	2後	2	
			女性福祉論	2前	2	
			介護技術論	2前	2	
			臨床心理学	2後	2	
			精神医学Ⅰ (P)	2前	2	
			精神医学Ⅱ (P)	2後	2	
			保健医療サービス論 (C)、(P)	2後	2	
			医療福祉論	3前	2	
			精神保健福祉相談援助の基盤(専門) (P)	2前	2	
			公的扶助論Ⅰ (C)、(P)	3前	2	
			公的扶助論Ⅱ	3後	2	
			社会調査概論 (C)	3前	2	
			精神保健 (P)	3前	2	
			精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ (P)	2後	2	
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ (P)	3前	2			
	ソーシャルワーク演習Ⅱ (C)、(P)	2通	2			
	ソーシャルワーク演習Ⅲ (C)、(P)	3通	2			
	ソーシャルワーク実習 (C)	3通	4			
	ソーシャルワーク実習指導 (C)	3通	2			
	展開科目	権利擁護と成年後見制度 (C)、(P)	3後	2	8単位必修 5科目10単位以上選択	
		社会福祉研究演習Ⅱ	4通	2		
		家族福祉論	3前	2		
		社会福祉施設経営論 (C)	3後	2		
		福祉行財政と福祉計画 (C)、(P)	3前	2		
		司法福祉論	3前	2		
		更生保護制度論 (C)	3後	2		
		国際福祉論	3後	2		
		ソーシャルワーク論Ⅴ (C)	3前	2		
		ソーシャルワーク論Ⅵ (C)	3後	2		
		精神保健福祉論Ⅰ (P)	3前	2		
		精神保健福祉論Ⅱ (P)	3後	2		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ (P)	3後	2		
		精神保健福祉援助演習Ⅰ (P)	3通	1		
		精神保健福祉援助演習Ⅱ (P)	4通	1		
		精神保健福祉援助実習Ⅰ (P)	3後	1		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ (P)	3後	1		
		精神保健福祉援助実習Ⅱ (P)	4通	4		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ (P)	4通	1		
		卒業研究	4通	4		

注1) 授業科目名中、(C)の表示がある科目は、社会福祉士指定科目である。

注2) 授業科目名中、(P)の表示がある科目は、精神保健福祉士指定科目である。

別表6の2

社会福祉学科

対象学生：令和3年度以後に入学する学生、令和4年度以後に社会福祉学科に編入する学生

授 業 科 目 の 名 称		配 当 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数		備 考	
			必 修	選 択		
授 業 科 目 の 概 要	人 間 総 合 科 学 科 目	人間と歴史	1前		2	4単位以上選択
		人間と歴史	1前		2	
		キャリアデザイン	1前		2	
		教育と人間	1前		2	
		個人と組織	1前		2	
		生涯スポーツ	1後		2	
		生涯発達とライフスタイル	1後		2	
		人間と心理	1後		2	
		人間関係論	2後		2	
	科 学 と 論 理	ラーニングスキル	1前	1		2単位必修 2単位以上選択
		人間総合科学演習	1前	1		
		統計リテラシー	1前		1	
		英語リーディング	1前		1	
		医療系科学の基礎	1前		1	
		情報機器の操作(Ⅰ)	1前		1	
		情報機器の操作(Ⅱ)	1後		1	
		科学と創造(理論編)	1後		1	
		科学と創造(実践編)	1後		1	
		調査と科学的方法	1後		1	
		生活と化学	2前		1	
	芸 術 と 創 造	人間と音楽	2前		1	1単位以上選択
		人間と美術	2前		1	
		人間と文学	2前		1	
		人間と演劇	2前		1	
	現 代 社 会 と 生 活	生活と環境	1後		2	4単位以上選択
		情報社会と対人援助	1後		2	
		災害と地域	1後		2	
		青森の風土と生活	1後		2	
		社会の動態と生活形態	1後		2	
		社会生活と法	1後		2	
		メディアリテラシー	2後		2	
		経済と生活	2前		2	
		グローバル社会と文化	2前		2	
ジェンダーと社会	2前		2			
言 語 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	人間関係とコミュニケーションB	2後	2		8単位必修	
	English 1	1前	2			
	English 2	1後	2			
	English 3	2前	1			
	English 4	2後	1			
	English Communication	1～4通		2		
	※韓国文化と言語	1前		2	※のうち2単位以上選択	
	※中国文化と言語	1前		2		
	※ロシア文化と言語	1後		2		
	※スペイン文化と言語	1前		2		
	※ろう文化と手話	1後		2		
	※フランス文化と言語	1前		2		

授業科目の概要	健康科学部 共通科目	ヘルスプロモーション概論	1前	2	9単位必修	
		ヘルスプロモーション演習	1前	1		
		健康情報リテラシー	1後	1		
		職業倫理とヘルスコミュニケーション	2前	1		
		セーフティプロモーション	2後	1		
		地域包括支援論	3前	1		
		ヘルスケアマネジメント論	4前	1		
		ヘルスケアマネジメント実習	4後	1		
共通 選択 科目	目	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	1～4通		1	2単位以上選択
		ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	1～4通		1	
		ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	1～4通		1	
		グローバルヘルス	1前		1	
		性とセクシュアリティ	1後		1	
		看護学概論Ⅰ	1前		1	
		人間発達援助論	1後		1	
		家族援助論	2後		1	
		認知症高齢者ケア	3前		1	
		災害看護学	3後		1	
		看護関係法規	2後		1	
		ペイシェントセーフティ	3後		1	
		ペリネイタルケア	3後		1	
		理学療法原論	1前		1	
		一般臨床医学	1後		1	
		画像診断学	2後		1	
		神経内科学	2後		2	
		障害予防概論	3前		1	
		日本国憲法	1後		2	
		食品機能論	3後		1	
専門 科目	目	社会福祉入門	1前	2	9単位必修	
		社会学(C)、(P)	1前	2		9単位以上選択
		医学概論(C)、(P)	1前	2		
		心理学(C)、(P)	1後	2		
		社会福祉基礎実習	1通	1		
		福祉法学	1前		2	
		ボランティア活動支援論	1前		2	
		家族社会学	1後		2	
		民法	1後		2	
		生涯発達心理学	2前		2	
		行政法	2前		2	
		リハビリテーション論	2後		2	
		社会法	2後		2	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(C)	2通		1	
		ソーシャルワーク実習Ⅰ(C)	2後		2	

授業科目の概要	専門科目	基幹科	社会福祉学概論Ⅰ (C)、(P)	1前	2		26単位必修 26単位以上選択
		科	社会福祉学概論Ⅱ (C)、(P)	1後	2		
		目	ソーシャルワーク論Ⅰ (C)、(P)	1前	2		
			ソーシャルワーク論Ⅱ (C)	1後	2		
			児童福祉論Ⅰ (C)	1後	2		
			障害者福祉論Ⅰ (C)、(P)	1後	2		
			高齢者福祉論Ⅰ (C)	1後	2		
			保健医療福祉論 (C)	2前	2		
			社会保障論Ⅰ (C)、(P)	2前	2		
			地域福祉論Ⅰ (C)、(P)	2後	2		
			地域福祉論Ⅱ (C)、(P)	3前	2		
			ソーシャルワーク演習Ⅰ (C)、(P)	1通	2		
			社会福祉研究演習Ⅰ	3通	2		
			ソーシャルワーク論Ⅲ (C)、(P)	2前		2	
			ソーシャルワーク論Ⅳ (C)、(P)	2後		2	
			児童福祉論Ⅱ (C)	2前		2	
			障害者福祉論Ⅱ (C)、(P)	2前		2	
			高齢者福祉論Ⅱ (C)	2前		2	
			医療ソーシャルワーク論	2後		2	
			社会保障論Ⅱ (C)、(P)	2後		2	
			女性福祉論	2前		2	
			臨床心理学	2後		2	
			精神医学Ⅰ (P)	2前		2	
			精神医学Ⅱ (P)	2後		2	
			精神保健福祉の原理Ⅰ (P)	2前		2	
			精神保健福祉の原理Ⅱ (P)	2後		2	
			公的扶助論 (C)	3前		2	
			社会福祉調査概論 (C)、(P)	3前		2	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ (P)	2後		2	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ (P)	3前		2	
			ソーシャルワーク演習Ⅱ (C)	2通		2	
			ソーシャルワーク演習Ⅲ (C)	3通		2	
			ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (C)	3通		2	
			ソーシャルワーク実習Ⅱ (C)	3通		4	
	展開科目	司法福祉論Ⅰ (C)、(P)	3前	2		10単位必修 10単位以上選択	
	目	権利擁護法制度論 (C)、(P)	3後	2			
		社会福祉研究演習Ⅱ	4通	2			
		卒業研究	4通	4			
		家族福祉論	3前		2		
		社会福祉施設経営論 (C)	3後		2		
		司法福祉論Ⅱ	3後		2		
		国際福祉論	3後		2		
		ソーシャルワーク論Ⅴ (C)	3前		2		
		ソーシャルワーク論Ⅵ (C)	3後		2		
		精神保健福祉制度論 (P)	3前		2		
		精神障害リハビリテーション論 (P)	3前		2		
		精神保健 (P)	3後		2		
		精神保健福祉援助演習Ⅰ (P)	3後		1		
		精神保健福祉援助演習Ⅱ (P)	4通		2		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ (P)	3後		1		
		精神保健福祉援助実習Ⅰ (P)	3後		1		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ (P)	4通		1		
		精神保健福祉援助実習Ⅱ (P)	4通		4		

注1) 授業科目名中、(C)の表示がある科目は、社会福祉士指定科目である。

注2) 授業科目名中、(P)の表示がある科目は、精神保健福祉士指定科目である。